PENTAX®

デジタルカメラ

Optio S55

使用説明書

カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

SDロゴは商標です。
PENTAXおよびペンタックス、Optioおよびオプティオ、smc PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応のプリンターでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。

PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。

PictBridgeについて

「PictBridge」は、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

 警告 このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

 注意 このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

 警告

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプターをご使用になったり、専用のACアダプターを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に「煙が出ている」、「変なにおいがする」などの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池またはACアダプターを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
- 充電式のニッケル水素電池以外は充電しないでください。破裂・発火のおそれがあります。このカメラに使用できる電池の種類で、ニッケル水素電池以外は充電ができません。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどのおそれがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などのおそれがあります。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こすおそれがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目についたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

電池の取り扱いについての注意

- このカメラは、単3アルカリ電池、単3リチウム電池、単3ニッケル水素電池、単3ニッケルマンガン電池のいずれか2本、またはCR-V3を1本使用します。これら以外の電池は使用しないでください。カメラの性能が十分に発揮できない場合や、電池の破裂、発火の原因となることがあります。
- 単3アルカリ電池、単3リチウム電池、単3ニッケルマンガン電池、CR-V3は充電ができません。また電池は分解しないでください。無理に充電や分解をすると、破裂や液漏れの原因となります。
- 電池を交換するときは、メーカー、種類、容量の異なる電池を混ぜて入れないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。
- 電池の「＋」と「－」の向きを間違えて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。

ACアダプターについて

注意

- AC コードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、AC コードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に付属しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）の不具合により、撮影や再生、パソコンなどへの転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証はご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所には保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- **カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。**
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることがありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しすることをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.20）をご覧ください。

- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニターが破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

目次

設定 114

付録 128

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行なってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。

3 機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「音声の録音・再生」「再生・消去・画像編集」「設定」の各章をご覧ください。

4 撮影

さまざまな撮影の方法や、撮影モードを切り替える方法などの撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 音声の録音・再生

音声だけの録音や画像に音声（ボイスメモ）を追加する方法、音声の再生のしかたを説明しています。

6 再生・消去・画像編集

カメラ・テレビでの再生の方法や消去のしかた、画像サイズの変更方法や、直接プリンターにつないでプリントする方法などを説明しています。

7 設定

カメラに関する機能の設定方法について説明します。

8 付録

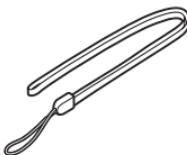
困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

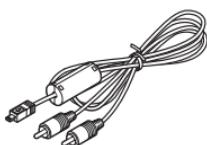
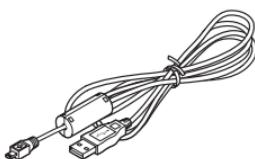
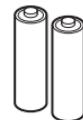
操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。
P, PICT, ☺, 👤, 🏔, ⛹, 🎥, 🎙, ✍	タイトルの上に表示されたマークは、その機能が使える撮影モードを表します。 例）　P ✍ ⛹ **シャープネスを設定する**

1 2 3 4 5 6 7 8

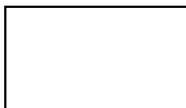
主な付属品の確認

本体
Optio S55

ストラップ
O-ST20（※）

ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW32

AVケーブル
I-AVC7（※）

USBケーブル
I-USB7（※）

単3アルカリ電池
（2本）

使用説明書
（本書）

PC接続ガイド

ACDSee for PENTAX
ユーザーズマニュアル

保証書

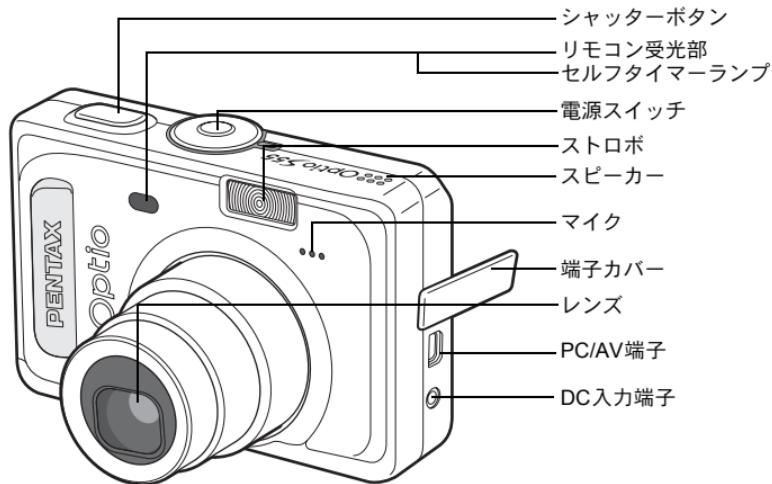
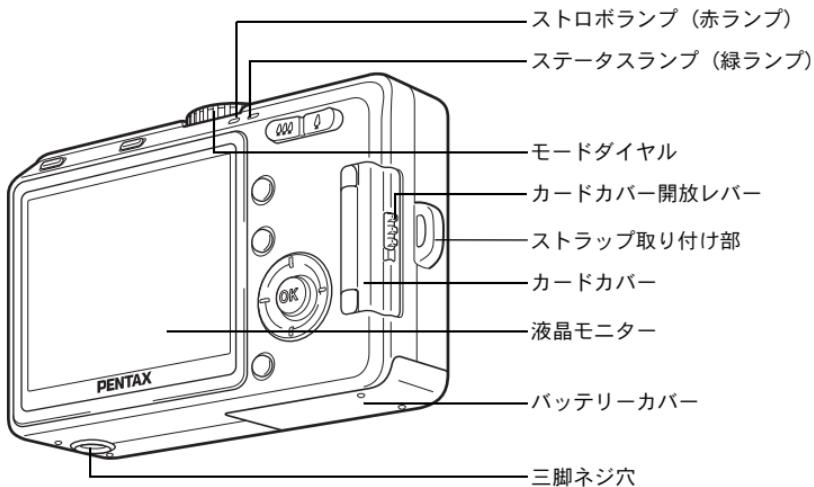
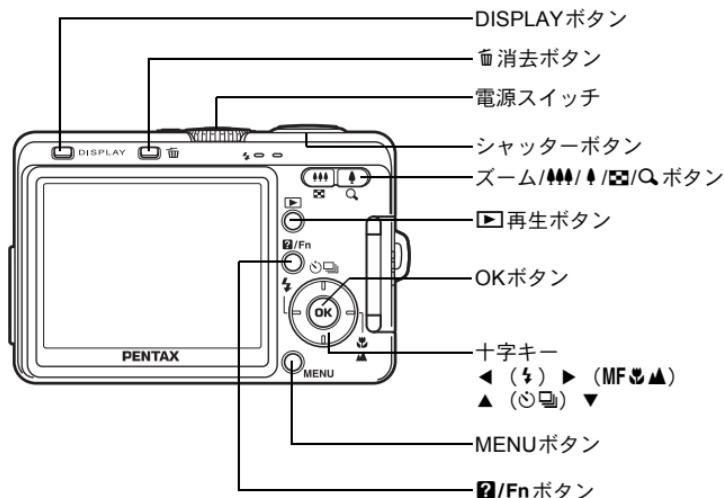
（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.129）をご覧ください。

各部の名称

前面

シャッターボタン
リモコン受光部
セルフタイマーランプ
電源スイッチ
ストロボ
スピーカー
マイク
端子カバー
レンズ
PC/AV端子
DC入力端子
PENTAX
Optio

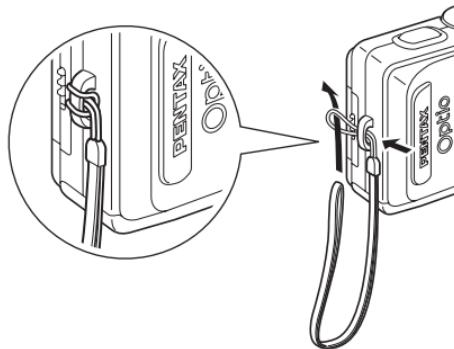
背面

ストロボランプ（赤ランプ）
ステータスランプ（緑ランプ）
モードダイヤル
カードカバー開放レバー
ストラップ取り付け部
カードカバー
液晶モニター
バッテリーカバー
三脚ネジ穴
OK
PENTAX

操作部の名称

ガイド表示について

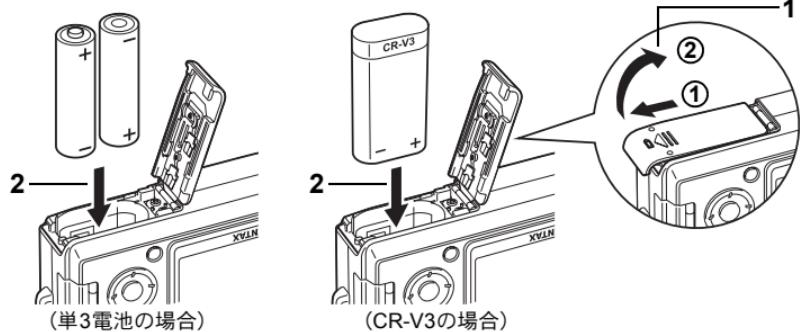
操作中は液晶モニターにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENUボタン	MENU

ズーム/⊞/🔍ボタン デジタルズーム時	🔍
DISPLAYボタン	DISP
🗑消去ボタン	🗑
OKボタン	OK
?/Fnボタン	?/FN

ストラップを取り付ける

ストラップの細いひもを、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する

（単3電池の場合）　（CR-V3の場合）

電池をセットする

カメラに電池をセットします。電池は単3アルカリ電池、単3 リチウム電池、単3ニッケル水素電池、単3ニッケルマンガン電池のいずれかを2本、またはCR-V3を1本使用します。

1　電池カバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

2　電池の向きを電池室内の⊕⊖表示に合わせて、挿入する

3　電池カバーを閉めて、水平方向に押し込む

長時間連続してご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC5J（別売）をご使用ください。（p.16）

- 単3アルカリ電池、単3リチウム電池、単3ニッケルマンガン電池、CR-V3は充電式ではありません。
- 電源スイッチがオンのときは、電池カバーを開けたり、電池を取り出したりしないでください。
- 長い間使わないときは、電池を取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、電池が液もれすることがあります。
- カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、このとき、日時や記録サイズなどの設定が初期化されていることがありますので、「撮影のための機能を設定する」（p.62～p.78）、「カメラの設定をする」（p.114～p.127）の説明にしたがって、それぞれ設定をしなおしてください。
- 電池は正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。また、電池の電極をよく拭いてから装填してください。

• 撮影可能枚数と再生時間（23℃・電池交換時）

各種の電池を利用したときの撮影可能枚数と再生時間を次に示します。

電池種別	撮影枚数※1 （ストロボ使用率50％）	再生時間※2
CR-V3	約370枚	約450分
単3ニッケル水素電池	約230枚	約250分
単3ニッケルマンガン電池	約90枚	約180分
単3アルカリ電池	約30枚	約50分

※1 撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。（測定条件：液晶モニターON、ストロボ使用率50％、23℃）
※2 再生時間は当社の測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

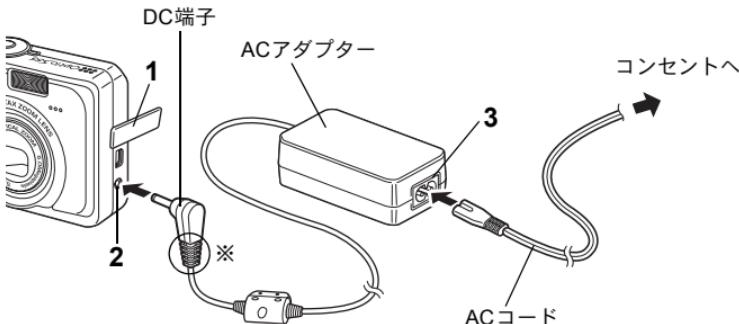
- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 単3アルカリ電池は特性上、カメラの性能を十分に発揮できない場合がありますので、緊急用として以外は、使用をおすすめしません。
- 単3アルカリ電池、単3ニッケルマンガン電池は特性上、低温ではカメラの性能を十分に発揮できないことがあります。低温でご使用の際は、CR-V3など他の電池の使用をお勧めします。
- 海外旅行などの長期のおでかけ、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備電池をご用意ください。

• バッテリーの残量表示

液晶モニターに表示された で、バッテリーの残量を確認できます。

（緑点灯）	：	バッテリーがまだ十分に残っています。
↓		
（黄点灯）	：	だいぶ減っています。
↓		
（赤点灯）	：	残量がほとんどありません。
↓		
「電池容量がなくなりました」	：	メッセージ表示後、電源オフとなります。

注意

単3ニッケルマンガン電池使用時、電池特性の関係で電池残量が正しく表示されないことがあります。十分使用された電池であっても、電池残量表示が になる場合があります。また、表示が のまま、警告なく電源がオフになることがあります。

ACアダプターを使用する

液晶モニターを長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプターキットK-AC5J（別売）のご使用をおすすめします。

1 カメラの電源が切れていることを確認してから、端子カバーを開ける

2 ACアダプターのDC端子を、カメラのDC入力端子に接続する

3 ACコードをACアダプターに接続する

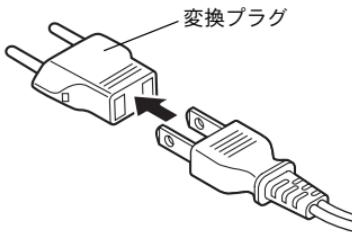
4 電源プラグをコンセントに差し込む

注意

- ACアダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行なってください。
- 電源および接続ケーブルは、しっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- DC端子の溝（イラストの※部分）にカメラの端子カバーが挟まると、端子が外れてしまうことがあります。ACアダプターを使用するときは、DC端子の溝部分が、カメラの背面側へ回転しないようにご注意ください。
- ACアダプターを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。ご使用の前に、必ず「ご注意ください」（p.1）をお読みください。
- ACアダプターをご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC5Jの使用説明書をあわせてご覧ください。
- ACアダプターを接続しても、カメラ内の電池を充電することはできません。

海外でACアダプターを使用する

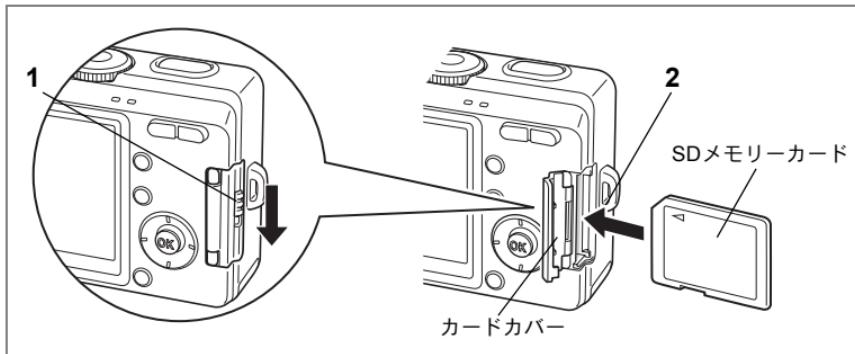
ACアダプターキットK-AC5J（別売）は、自動で全世界の電源電圧（100-240V）、電源周波数（50Hz、60Hz）に切り換わるように設計されています。
ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、「主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ」（p.18）を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合った変換プラグを準備してください。

注意

- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。
- ご使用にならないときは、変換プラグをコンセントから外してください。

タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				

ACアダプターキットK-AC5J（別売）に付属のACコード D-CO24Jは、タイプAです。

主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

		A	B	BF	C	S
北米	アメリカ合衆国、カナダ	○				
ヨーロッパ、旧ソ連地域	アイスランド、アイルランド、イタリア、ウクライナ、オーストリア、オランダ、カザフスタン、ギリシャ、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベラルーシ、ベルギー、ルーマニア、ロシア				○	
	イギリス		○	○		
	スペイン	○			○	
	スイス、ポーランド、ポルトガル		○		○	
アジア	日本、台湾	○				
	スリランカ、モルジブ		○			
	ネパール、バングラデシュ、モンゴル				○	
	ベトナム	○			○	
	インド、インドネシア、パキスタン、マカオ特別区		○		○	
	タイ	○		○	○	
	大韓民国	○	○		○	
	フィリピン	○			○	○
	シンガポール、香港特別行政区		○	○		
	中華人民共和国	○	○	○	○	○
	マレーシア		○	○	○	
オセアニア	オーストラリア、トンガ、ニュージーランド、フィジー					○
	グァム島	○				
	タヒチ				○	
中南米	コロンビア、ジャマイカ、ハイチ、パナマ、バハマ、プエルトリコ、ベネズエラ、メキシコ	○				
	ブラジル、ペルー	○			○	
	チリ		○		○	
	アルゼンチン			○	○	○
中東	イスラエル、イラン				○	
	クウェート		○		○	
	ヨルダン		○	○		
アフリカ	カナリア諸島、ギニア、モザンビーク、モロッコ				○	
	ケニア、南アフリカ共和国		○		○	
	アルジェリア	○	○	○		
	エジプト		○	○	○	
	ザンビア、タンザニア		○	○		

SDメモリーカードをセットする

このカメラで使用できるカードは、SDメモリーカードです。撮影した画像は、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに記録されます。カードをセットして撮影したとき（液晶モニターにが表示されます）はカードに、カードをセットしていないとき（液晶モニターにが表示されます）は内蔵メモリーに記録されます。SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

1 カードカバー開放レバーを矢印の方向に押し下げる

指を離すと、カードカバーが開きます。

2 SDメモリーカードのラベル面を液晶モニター側に向け、カチッと音がするまで押し込む

3 カードカバーを閉じる

カードを取り出すときは、カードを矢印の方向に押し込んでください。カードが少し飛び出すので、カードを引き抜いて取り出してください。

撮影できる画像の枚数は、使用するSDメモリーカードまたは内蔵メモリーの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります。（☞p.22）

未使用または他のカメラで使用したカードは､必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード/内蔵メモリーをフォーマットする」（p.114）をご覧ください。

データバックアップのおすすめ

内蔵メモリーに記憶したデータは、故障などの原因でまれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータはパソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

SDメモリーカード使用上の注意

- SDメモリーカードを出し入れするときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。
液晶モニターでは🔒と表示されます。

ライトプロテクトスイッチ

- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SD メモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、または USB ケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、ACアダプターやバッテリーを抜いたとき
- SDメモリーカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅いSDメモリーカードでは、動画撮影時にカードに空き容量があっても途中で撮影が終了したり、撮影・再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。

記録サイズと画質

画像の記録サイズと画質は、画像の用途に応じて設定します。
記録サイズの数値や画質の★の数は、多くなるほどプリントした時に鮮明な画像が得られますが、画像の容量が増えるので、撮影できる枚数は少なくなります。

画像の記録サイズと画質の設定は、「撮影」メニューで行います。

記録サイズを選択する☞p.65

画質を選択する☞p.66

画像設定を選択する☞p.67

● 選べる記録サイズと適した用途

記録サイズ		用途
2560×1920	↑きれい	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大型プリント、画像編集・加工など
2304×1728		
2048×1536		
1600×1200		
1024×768		ハガキサイズプリント
640×480		ホームページ掲載・電子メール添付など

初期設定では、2560×1920が選択されています。

● 選べる画質と適した用途

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、A4サイズなどの大きな写真のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

初期設定では、★★（ファイン）が選択されています。

● 選べる画質と適した用途（イージーモード）

画質		用途
最高画質（5MB: 2560×1920 ★★★）	↑きれい	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大型プリント、画像編集・加工など
高画質（5MB: 2560×1920 ★★）		
標準画質（3MB: 2048×1536 ★★）		ハガキサイズプリント
メール画質（0.3MB: 640×480 ★★）		ホームページ掲載・電子メール添付など

初期設定では、高画質が選択されています。

☺（イージーモード）では、記録サイズと画質をセットで設定します。（☞p.67）

● 記録サイズ/画質と撮影可能枚数の目安

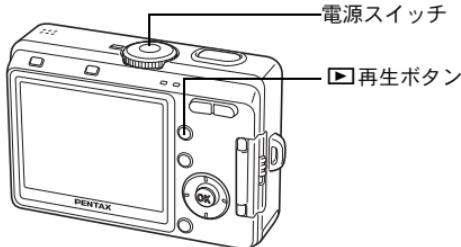
内蔵メモリー（11MB）を使用した場合

画質 / 記録サイズ	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	動画 (320×240)	音声
2560×1920	3枚	6枚	10枚	49秒 (15fps) 25秒 (30fps)	11分
2304×1728	4枚	8枚	12枚		
2048×1536	5枚	9枚	14枚		
1600×1200	8枚	15枚	21枚		
1024×768	19枚	36枚	48枚		
640×480	44枚	69枚	92枚		

SDメモリーカード（128MB）を使用した場合

画質 / 記録サイズ	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	動画 (320×240)	音声
2560×1920	38枚	77枚	124枚	9分12秒 (15fps) 4分45秒 (30fps)	2時間13分
2304×1728	49枚	96枚	138枚		
2048×1536	62枚	113枚	166枚		
1600×1200	104枚	178枚	250枚		
1024×768	227枚	417枚	544枚		
640×480	500枚	782枚	1043枚		

• この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより異なります。

電源をオン/オフする

1　電源スイッチを押す

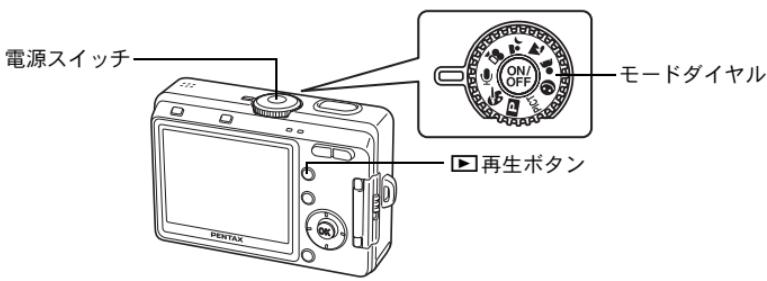
電源がオンになります。
電源をオンにすると、レンズバリアが開き、レンズが前に出ます。

2　もう一度電源スイッチを押す

電源がオフになります。

撮影モードと再生モードを切り替える☞p.41

撮影する☞p.41

カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、この場合は日時や記録サイズなどの設定が初期化されていることがありますので、「撮影のための機能を設定する」(p.62～p.78)、「カメラの設定をする」(p.114～p.127)の説明に従って、それぞれ設定をしなおしてください。

再生専用モード

再生専用モードは、レンズが収納された再生モードです。撮影はせずに、すぐに画像や音声を再生したいときに使用します。シャッターボタンなどを押しても、撮影モードには切り替わりません。

1 再生ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

レンズは収納されたまま、再生専用モードで起動します。

- 再生専用モードから撮影モードへ切り替えるには、いったん電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。
- 再生専用モード時は、画像の再生時に ONLY と表示されます。
- 撮影モードで「再生」ボタンを2秒以上押すと、再生モードに切り替わり、レンズが収納されます。再生専用モードと異なり、もう一度「再生」ボタンやシャッターボタンを押す、またはモードダイヤルを回すと撮影モードになります。

静止画を再生する☞p.88

ボイスレコーディング専用モード

ボイスレコーディング専用モードは、レンズは収納されたままで音声のみを録音するモードです。
カメラをボイスレコーダーとして使用するときに利用します。

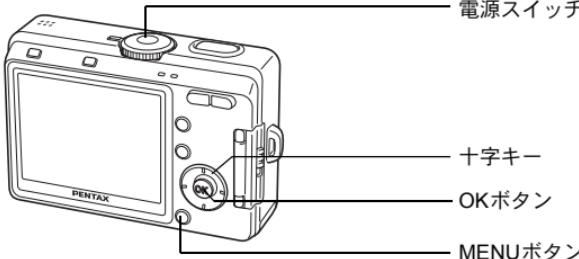
1 モードダイヤルを に合わせてから電源をオンにする

レンズは収納されたまま、ボイスレコーディング専用モードで起動します。

ボイスレコーディング専用モードでモードダイヤルを回転すると、レンズが繰り出し、写真を撮影できる状態に変わります。

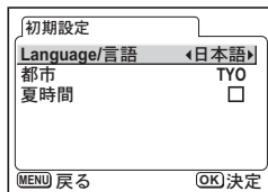
音声を録音する☞p.82

初期設定をする

ご購入後、最初にお使いになる前に、まず言語と日時を設定してください。

言語を設定する

カメラの電源を入れたときに、初期設定の画面が表示されたら、次の手順で言語を日本語に、日時を現在の日時に設定してください。
「日時設定」の画面が表示されていたら、次ページの「日時を設定する」に進んでください。

1　十字キー（◀▶）を押して「日本語」を選ぶ

「日本語」を選んだときに「都市」「夏時間」が右図のように表示されていたら、ここでOKボタンを押します。それ以外が表示されている場合のみ、手順2に進んでください。

2　十字キー（▼）を押す

四角の選択枠が「都市」に移動します。

3　十字キー（◀▶）を押して「TYO」（東京）を選択する

4　十字キー（▼）を押して「夏時間」に移動させる

5　十字キー（◀▶）を押して☑を□に設定する

6　OKボタンを押す

「日時設定」（次ページ）の画面が表示されます。引き続き日時の設定を行ってください。

1 準備

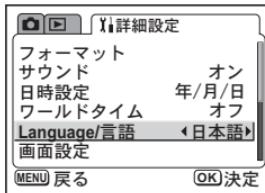
もし誤って、日本語以外の言語でOKボタンを押してしまったら、下記のメニュー操作で日本語に設定し直してください。

1 MENUボタンを2回押す

2 十字キー（▶）を2回押す

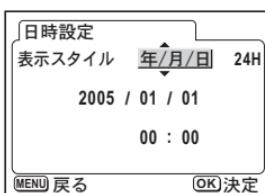
3 十字キー（▼▲）を押して、「Language/言語」を選ぶ

4 十字キー（◀ ▶）で「日本語」を選ぶ

5 OKボタンを押す

言語が日本語に設定され、画面は撮影できる状態に切り替わります。ここまでの操作では日時の設定がされていませんので、「日時を変更する」（p.116）の手順で、現在の日時に設定してください。

日時を設定する

日付の表示スタイルと現在の日付、時刻を設定します。

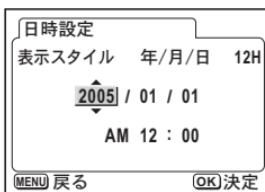
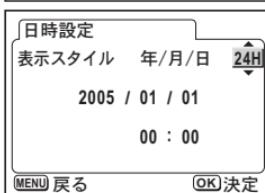
1 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

選択枠が「24H」に移動します。

3 十字キー（▲▼）を押して、時刻の表示スタイルを選ぶ

「12H」を選ぶと12時間制で、「24H」を選ぶと24時間制で、時刻表示されます。

4 十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

5　十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

西暦年を設定後、十字キー（▶）を押すごとに、選択枠が「月」「日」「時」「分」の順で移動します（◀を押すと1つ前に戻ります）。十字キー（▲▼）を押して、それぞれ設定してください。
手順3で「12H」を選択した場合は、時刻の設定に連動してAM/PMが切り替わります。

6　すべての項目を設定したら、OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

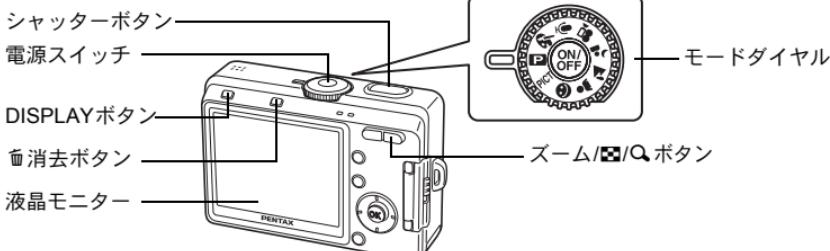
- 日時の設定終了後、OKボタンを押すと、0秒にセットされます。
- 時報に合わせてOKボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

これで初期設定は完了です。すべての設定が完了したら、次からは電源を入れても初期設定の画面は表示されませんので、この作業をする必要はありません。

- 初期設定の途中で MENU ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。
- ここで設定した内容は、設定後メニュー操作で変更することができます。操作のしかたは以下の参照ページをご覧ください。
  「言語」:「表示言語を変更する」(p.122)
  「都市」「夏時間」:「ワールドタイムを設定する」(p.118)
  「日時」:「日時を変更する」(p.116)
- 「ビデオ出力方式」は、ここで設定した言語に連動して、下記の内容で設定されます。お使いになる地域の方式と異なる場合は、「ビデオ出力方式を選択する」(p.123)の手順で変更してください。

言語	ビデオ出力
日本語	NTSC
英語（English）	NTSC
フランス語（Français）	PAL
ドイツ語（Deutsch）	PAL
スペイン語（Español）	PAL
イタリア語（Italiano）	PAL
中国語・繁体字（中文繁體）	PAL
中国語・簡体字（中文简体）	PAL
ロシア語（Русский）	PAL
韓国語（한국어）	NTSC

1 準備

静止画を撮影する

最も標準的な静止画の撮影方法を説明します。ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

フォーカスフレーム

1 電源スイッチを押す

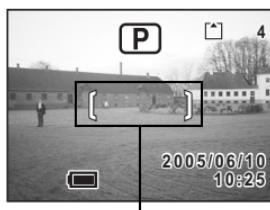
電源がオンになります。

2 モードダイヤルをPに合わせる

3 液晶モニターを見る

液晶モニターの中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。ズーム/♠♠♠/♠ボタンを押すと被写体の写る範囲が変わります。

♠ ：被写体を拡大して写します。

♠♠♠：被写体を広い範囲で写します。

ピントを合わせる範囲は、必ず液晶モニターで確認してください。

4 シャッターボタンを半押しする

ピントの合った位置で、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5 シャッターボタンを全押しする

撮影した画像が液晶モニターに0.5秒間表示（クイックビュー）されます。撮影した画像はSDメモリーカード、または内蔵メモリーに保存されます（保存中はカメラ背面の上部にある緑ランプと赤ランプが交互に点滅します）。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

半押し

シャッターボタンを軽く押した状態です。ピント位置、露出がロックされます。シャッターボタンを半押ししたときだけシャッター速度、絞り値が液晶モニターに表示されます。半押しのとき、液晶モニターやステータスランプ、ストロボランプは次のような情報を表します。

1. フォーカスフレーム

ピントの合った位置で、フォーカスフレームが緑色に点灯します。ピントが合っていないときは、枠が表示されません。

2. ステータスランプとストロボランプ

	ステータスランプ（緑）	ストロボランプ（赤）
点灯	ピントが合っています	ストロボ発光表示
点滅	ピントが合っていません	ストロボ充電中

ストロボ充電中は撮影できません。

全押し

シャッターボタンを下まで押した状態です。撮影が行われます。

[ピント合わせの苦手な条件]

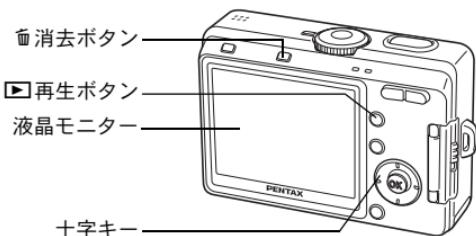
写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときはいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定（シャッターボタン半押し）し、その後構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい場合）

クイックビュー

撮影直後に画像が表示される「クイックビュー」の表示時間は、初期設定では0.5秒間に設定されています。表示時間を1秒以上に設定している場合は、クイックビュー表示中に 🗑 消去ボタンを押すと、消去画面が表示されます。「消去」を選びOKボタンを押すと、その画像を消去することができます。（☞p.94）

クイックビューの表示時間を設定する☞p.74

静止画を再生する

画像を再生する

静止画を再生します。

1 撮影後に▶再生ボタンを押す

再生モードに切り替わり、撮影した画像が液晶モニターに表示されます。
「再生」ボタンを2秒以上押しつづけて再生モードに切り替えると、レンズが収納されます。画像を見た後に、もう一度「再生」ボタンを押すか、シャッターボタンを押す、またはモードダイヤルを回すと、撮影できるようになります。

前後の画像を再生する

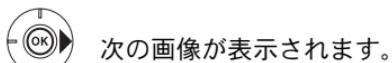
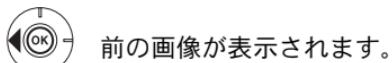
静止画を前後に1枚ずつ送って再生します。

1 撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

2 十字キー（◀▶）を押す

前の画像が表示されます。

次の画像が表示されます。

表示された画像を回転表示する

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

2　十字キー（▼）を押す

1回押すごとに、画像が時計回りに90°ずつ回転して表示されます。

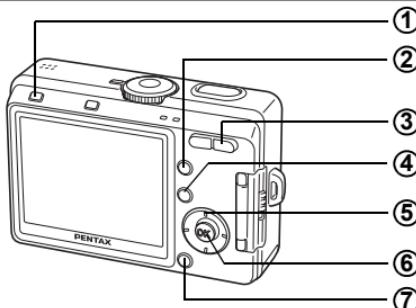
- 回転表示できるのは、本機で撮影した静止画像のみです。
- 回転表示中も、拡大再生や9画面表示、ボイスメモの録音/再生が実行できます。ただし、回転表示中に拡大再生を実行したときの表示は、回転前の通常の向きになります。

表示した画像を消去するには

画像表示中に🗑消去ボタンを押すと、消去画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押すとこの画像を消去することができます。
もう一度▶再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、撮影できる状態に戻ります。

- 再生モードに切り替えると最後に撮影した画像が最初に表示されます。
- 再生画像は、ズーム/⊞/🔍ボタンで拡大して見ることができます。
- 画像が保存されていないときは、「画像/音声がありません」と表示されます。

消去する☞p.94

ボタンの機能を使用する

撮影モード時

① **DISPLAYボタン**
液晶モニターに表示される撮影情報を切り替えます。（☞p.42）

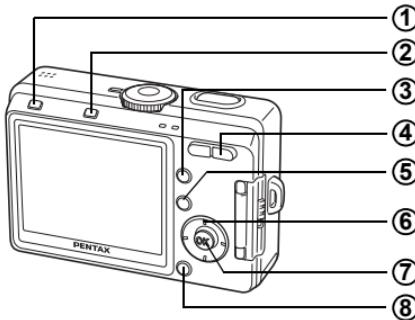
② **▶再生ボタン**
再生モードに切り替えます。長押しするとレンズが収納されます。（☞p.30）

③ **ズームボタン**
撮影する範囲を変えます。（☞p.53）

④ **?/Fnボタン**
☺モードでヘルプ画面を表示します。（☞p.45）
☺、🎥、🎙以外のモードでは、「🔧詳細設定」メニューの「Fn設定」で割り当てた機能を設定します。（☞p.126）

⑤ **十字キー**
[全モード共通]
（◀）　ストロボの発光方法を切り替えます（動画モードを除く）。（☞p.64）
（▶）　被写体にピントを合わせる方法を切り替えます。（☞p.62）
（▲）　セルフタイマー撮影、リモコン撮影、連続撮影を選択します。（☞p.55～p.57）
[PICT、デジタルフィルタモード時]
（▼）　撮影効果を選択します。（☞p.47、58～60）
[MFモード時]
（▲▼）ピントを合わせます。（☞p.63）

⑥ **OKボタン**
メニュー項目を決定します。（☞p.35）

⑦ **MENUボタン**
「📷撮影」「▶再生」「🔧詳細設定」のメニュー画面を表示します。（☞p.35）

再生モード時

① **DISPLAYボタン**
液晶モニターに表示される情報を切り替えます。（☞p.91）
DPOF画面、プロテクト画面では、全画像を選択します。（☞p.98、p.103）

② **🗑消去ボタン**
再生中の画像を消去します。（☞p.94）

③ **▶再生ボタン**
撮影モードに切り替えます。（☞p.30）

④ **ズーム/▦/🔍ボタン**
通常再生時に▦を押すと、9画像表示に変わります。通常再生時に🔍を押すと、拡大表示に変わります。（☞p.92）
拡大再生時には、液晶モニターに表示される画像の大きさを変えます。

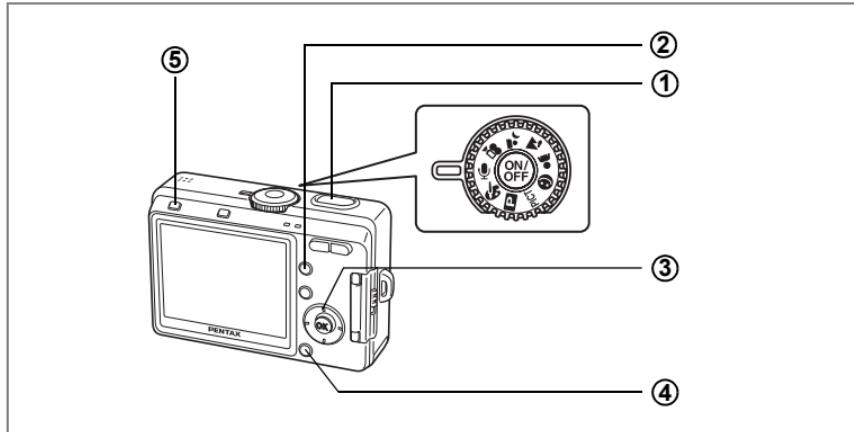
⑤ **?/Fnボタン**
☺モードでヘルプ画面を表示します。

⑥ **十字キー**
（▲）　動画、音声を再生/一時停止します。（☞p.90）
　　　　ボイスメモを再生開始します。（☞p.86）
（◀▶）前後の画像を表示します。（☞p.30）
（▼）　静止画再生中に押すと、画像を回転して表示します。（☞p.31）
　　　　動画、ボイスメモの再生中に押すと、再生を停止します。（☞p.86、p.90）

⑦ **OKボタン**
メニュー項目を決定します。（☞p.35）
ボイスメモの録音を開始/再生します。

⑧ **MENUボタン**
「📷撮影」「▶再生」「🔧詳細設定」のメニュー画面を表示します。（☞p.35）

メモ

再生専用モードで起動した場合は、▶再生ボタンを押しても撮影モードには切り替わりません。再生専用モードから撮影モードへ切り替えるには、いったん電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。

ボイスレコーディングモード時

① シャッターボタン

ボタンを押すと録音を開始し、もう一度押すと録音を停止します。(☞p.82)

② ▶再生ボタン

再生モードに切り替えます。もう一度押すと、録音モードに戻ります。(☞p.83)

③ 十字キー（再生モード時）

（▲）　再生を開始します。もう一度押すと、再生を一時停止します。(☞p.83)

（◀▶）再生前に前後の画像・音声を選びます。

（▼）　再生を停止します。

④ MENUボタン

録音待機中、または音声の再生前に押すと、「▶再生」、「詳細設定」のメニュー項目を表示します。(☞p.40)

⑤ DISPLAYボタン

録音モード時：液晶モニターオフになります。もう一度押すと、通常の録音画面に戻ります。

再生モード時：再生待機中に押すと、表示情報なしに切り替わります。もう一度押すと、通常の再生画面に戻ります。

MENUを設定する

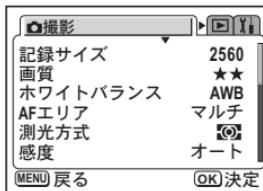
MENUボタンを押すと、液晶モニターにメニューが表示されます。メニューを使用して、機能の設定や設定した内容をメモリー（保存）したり、カメラの設定を変更することができます。

メニューの基本操作

メニュー操作中は、液晶モニターにガイドが表示されます。

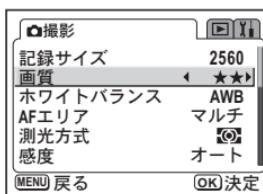
例）「撮影」メニューの「画質」の設定をする

1 MENUボタンを押す

メニュー画面が表示されます。「撮影」メニューが選択されています。

2 十字キー（▼）を押す

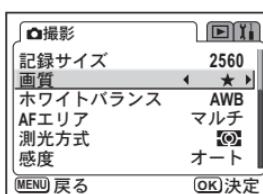
選択枠が「記録サイズ」に移動します。

3 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

4 十字キー（◀▶）で設定を切り替える

十字キーを押す度に画質が切り替わります。

5 OKボタンまたはシャッターボタンを押す

設定が保存され、撮影できる状態に戻ります。

- 設定を保存する前に、OK ボタンやシャッターボタン以外のボタンを押すと、それまでの設定は保存されないまま、撮影または再生の画面に切り替わります。
- OK ボタンまたはシャッターボタンを押してメニュー設定を完了させても、電源をオンにしたまま電池を取り出したりするなど誤った操作で電源をオフすると設定は保存されません。

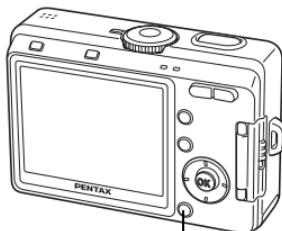
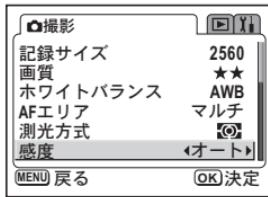
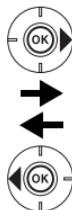
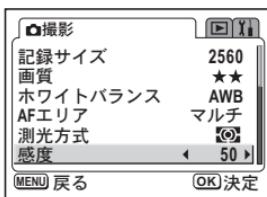
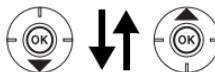
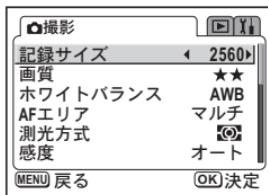
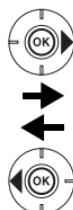
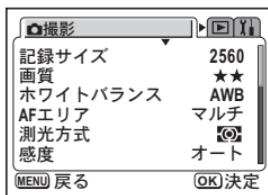
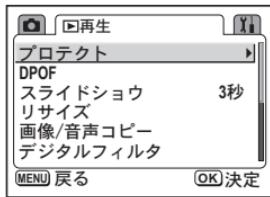
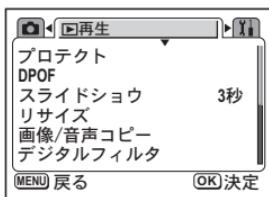
メニュー操作の流れ

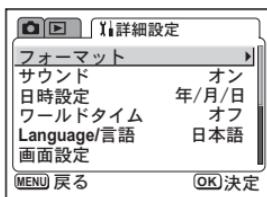
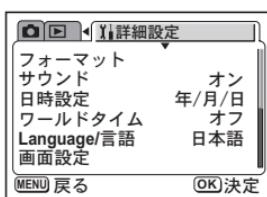
MENUボタン

「撮影」メニュー

次のメニュー画面

「▶再生」メニュー

プロテクト
DPOF
スライドショウ 3秒
リサイズ
画像/音声コピー
デジタルフィルタ

次のメニュー画面

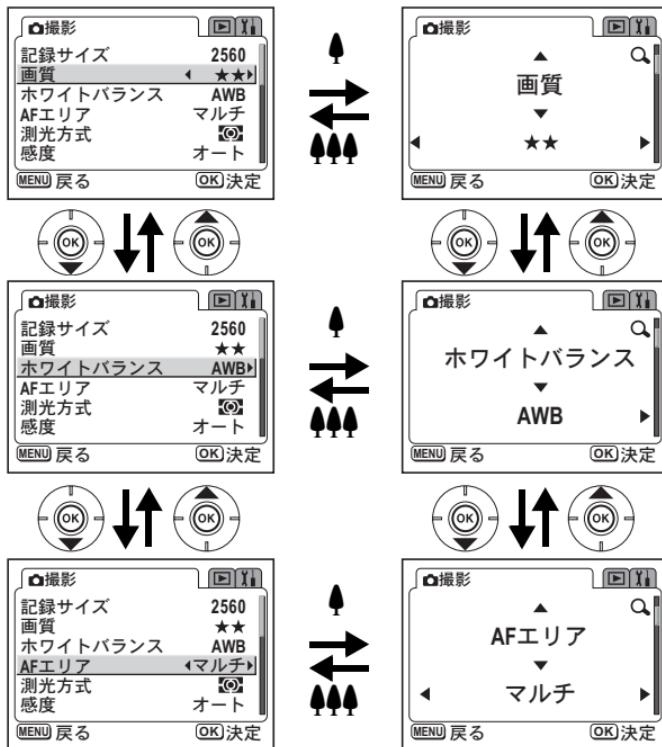
「詳細設定」メニュー

次のメニュー画面

撮影モードでMENUボタンを押すと「撮影」メニューが表示され、再生モードでMENUボタンを押すと「▶再生」メニューが表示されます。

メニューを拡大表示する

メニュー表示中にズームボタン（♠）を押すと、メニューが拡大されて表示されます。ズームボタン（♠♠♠）を押すと、元の表示に戻ります。

操作の一例

通常表示		拡大表示
撮影：記録サイズ 2560／**画質 ★★**／ホワイトバランス AWB／AFエリア マルチ／測光方式／感度 オート　MENU 戻る　OK 決定	♠ ⇄ ♠♠♠	撮影：画質 ★★　MENU 戻る　OK 決定
撮影：記録サイズ 2560／画質 ★★／**ホワイトバランス AWB**／AFエリア マルチ／測光方式／感度 オート　MENU 戻る　OK 決定	♠ ⇄ ♠♠♠	撮影：ホワイトバランス AWB　MENU 戻る　OK 決定
撮影：記録サイズ 2560／画質 ★★／ホワイトバランス AWB／**AFエリア マルチ**／測光方式／感度 オート　MENU 戻る　OK 決定	♠ ⇄ ♠♠♠	撮影：AFエリア マルチ　MENU 戻る　OK 決定

拡大表示のまま電源をオフにした場合、次に電源をオンにし、MENUボタンを押すと、メニューは拡大表示されます。

メニュー一覧

「撮影」メニュー

○…設定の変更がすべて作動に反映します。
△…設定の変更は、PICT、、では無効です。
×…設定の変更は無効です。メニュー画面上では設定を変更できますが、撮影の動作には反映されません。

項目	内容	初期設定	☺	P PICT		参照
画像設定	画像の画素数と圧縮率が選べます。	高画質	○	—	—	p.67
記録サイズ	画像の画素数が選べます。	2560×1920	—	○	320×240に固定	p.65
画質	画像の圧縮率が選べます。	★★	—	○	×	p.66
ホワイトバランス	撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。	AWB（オート）	—	△	○	p.68
AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲を変更します。	マルチ	—	○	×	p.70
測光方式	露出を決定する測光方式を設定します。	（分割）	—	○	○	p.71
感度	感度を設定します。	オート	—	○	×	p.72
フレームレート	フレームレートを設定します。	30fps	—	×	○	p.73
デジタルズーム	デジタルズーム撮影ができます。	オン	—	○	○	p.53
クイックビュー	クイックビューの表示時間を設定します。	0.5秒	—	○	×	p.74
モードメモリ	電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリーします。	※	—	○	○	p.79
シャープネス	シャープネスを設定します。	標準	—	△	×	p.75
彩度	彩度を設定します	標準	—	△	×	p.76
コントラスト	コントラストを設定します。	標準	—	△	×	p.77
露出補正	－2.0～＋2.0の間で露出を補正します。	±0.0	—	○	○	p.78

※ストロボ、デジタルズーム、ファイルNo.のみモードメモリする設定

- モードには、「撮影」メニューはありません。
- ☺モードには、「画像設定」以外のメニューはありません。

「▶再生」メニュー

項目	内容	参照
プロテクト	画像を消去できないようにします。	p.97
DPOF	プリントサービスの設定をします。	p.106
スライドショウ	保存された画像を連続して再生します。	p.93
リサイズ	画像のサイズを変更します。	p.108
画像/音声コピー	内蔵メモリーとSDメモリーカード間でファイルをコピーします。	p.112
デジタルフィルタ	撮影した画像を赤、青、緑などの画像フィルタを用いて加工します。	p.110
ボイスメモの録音	オフに設定すると、静止画の再生時に誤ってボイスメモを録音することを防止できます。	p.84
クイック拡大	ズームボタンを一度操作するだけで画面を最大拡大倍率で再生するように設定します。	p.89
クイック消去	オンに設定すると「消去」が選択された状態で消去画面が表示されます。	p.95

「詳細設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットします。	p.114
サウンド	音量、起動音、シャッター音、操作音を設定します。	p.115
日時設定	日付、時刻、日付表示スタイルを設定します。	p.116
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します。	p.118
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます。	p.122
画面設定	起動画面、背景色、画面効果を設定します。	p.120
LCDの明るさ	液晶モニターの明るさを設定します	p.122
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します。	p.123
USB接続	USB接続モードを変更します。	p.124
オートパワーオフ	設定した時間で自動的に電源が切れるようにします。	p.125
Fn設定（※）	十字キー（▲▼◀▶）に撮影機能を登録します。	p.126
リセット	設定を初期状態に戻します。	p.125

※: ☺モードでは、「Fn設定」の設定はできません。

3 機能共通操作

撮影する

モードを切り替える

撮影ができる状態を撮影モード、再生や消去ができる状態を再生モードといいます。

撮影モードと再生モードを切り替える

- 撮影モードから再生モードへは、▶再生ボタンを押して切り替えます。
- 再生モードから撮影モードへは、▶再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しして切り替えます。

撮影モードから▶再生ボタンを2秒以上長押しして再生モードに切り替えると、レンズが収納されます。

撮影モードを選ぶ

撮影モード

P	プログラムモード	一般的な撮影にむいています。	p.46
PICT	ピクチャーモード	撮影するシーンにあわせた設定で撮影します。9種類のピクチャーモードが用意されています。	p.47
☺	イージーモード	カメラまかせで撮影します。	p.44
	ポートレートモード	人物をきれいに撮影します。	p.50
	風景モード	風景をきれいに撮影します。	p.50
	夜景モード	夜景など暗いシーンを撮影します。	p.49
	動画モード	動画を撮影します。	p.51
	デジタルエフェクトモード	様々な特殊効果を使用して撮影します。	p.58～p.61

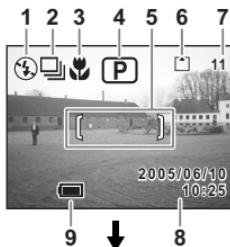
1　モードダイヤルを回して、指標にP PICT ☺のいずれかを合わせる

撮影情報を表示する

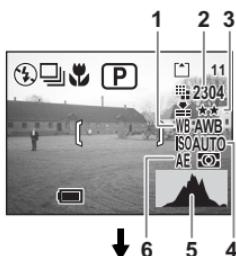
DISPLAYボタンを押すたびに、液晶モニターの表示が切り替わります。

通常表示

電源をオンしたときの状態です。撮影情報を表示します。

1 ストロボ　**2** ドライブモード
3 フォーカスモード　**4** 撮影モード
5 フォーカスフレーム　**6** カード/内蔵メモリー
7 撮影可能残量　**8** 日時
9 バッテリー残量表示

ヒストグラム表示

明度分布を表示します。ヒストグラムの横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 ホワイトバランス　**2** 記録サイズ
3 画質　**4** 感度
5 ヒストグラム　**6** 測光方式

グリッド表示

構図作成の目安となるグリッドを表示します。

表示情報なし

撮影情報を表示しません。

- オートフォーカス時には、フォーカスフレームが表示されます。
- 設定を変更したときは、数秒間、設定内容を表示します。

液晶モニターオフ

通常表示

液晶モニターオフ

液晶モニターをオフにします。

、では、液晶モニターはオフにできません。

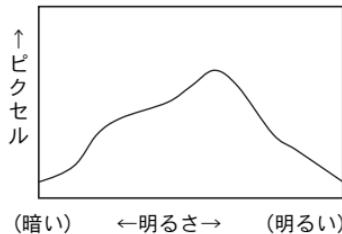
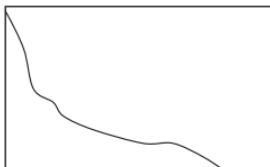
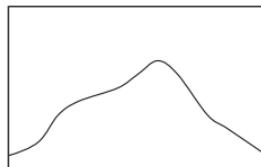
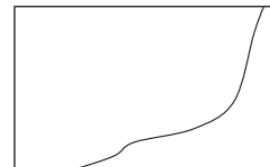
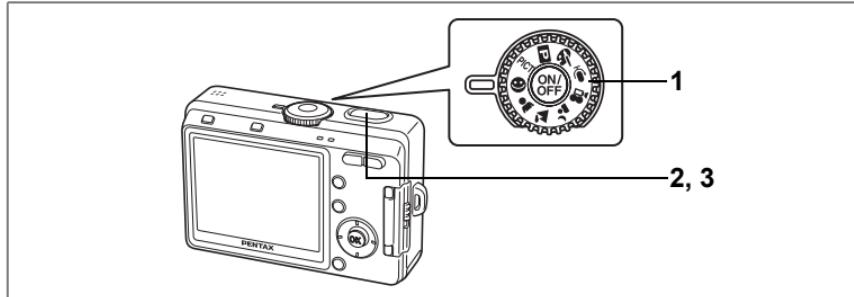
液晶モニターの表示モードを保存する☞p.79

4 撮影

ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさのピクセル数を積み上げたグラフ（明るさの分布図）です。

ヒストグラムを参照することで、撮影した画像がどの程度の明るさになっているか、おおよその傾向をつかむことができます。例えば、グラフの山が左側に偏っているほど暗い画像になり、右側に偏っていれば明るい画像になります。

一般的に明暗差のバランスがとれた画像の場合、中央部になだらかな山のピークができていることが多くなります。逆に明暗差が極端で、明るい部分と暗い部分のみで構成され、中間的な明るさの部分が少ない画像の場合、左右に山のピークができ、中央部分がくぼんだグラフになります。

カメラまかせで撮影する（イージーモード）

☺（イージーモード）では、撮影前にシャッターボタンを半押しすると、カメラが撮影シーンを認識して、自動的にシーンに応じた設定にセットされます。

1　モードダイヤルを☺に合わせる

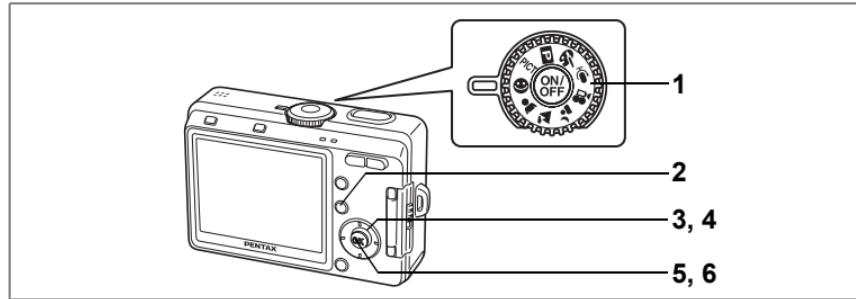
2　シャッターボタンを半押しする

ピントの合った位置で、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わり、カメラが認識した撮影シーンに合わせて、下記のようなアイコンが表示されます。

- 風景アイコン：風景写真に適した設定にセットされます。
- 人物アイコン：人物を撮影するのに適した設定にセットされます。
- 夜景アイコン：夜景を撮影するのに適した設定にセットされます。
- ☺：風景･人物･夜景のいずれにも認識されない場合に表示されます。

3　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- イージーモードでは、「撮影」メニューで設定できる項目は「画像設定」のみです。
- イージーモードでセットされる夜景モードでは、シャッター速度が、低速側でカメラぶれの起きにくい範囲に制御されますので、暗い夜景ではきれいに写らないことがあります。暗い夜景を撮影する場合は、モードダイヤルを夜景モードに合わせてカメラを三脚などに固定して撮影することをおすすめします。

ヘルプ機能を使用する

イージーモードで撮影または再生中に、ヘルプ画面を表示させることができます。ヘルプ画面では、十字キーやズームボタンなど各ボタンについての機能説明が表示されます。

1 モードダイヤルを☺に合わせる

2 ?/Fnボタンを押す

液晶モニターにヘルプ画面が表示されます。

3 十字キー（◀▶）で「モードダイヤル」「十字キー」「背面ボタン」を切り替える

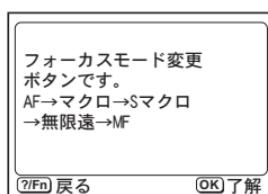
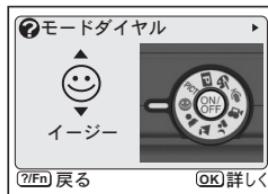
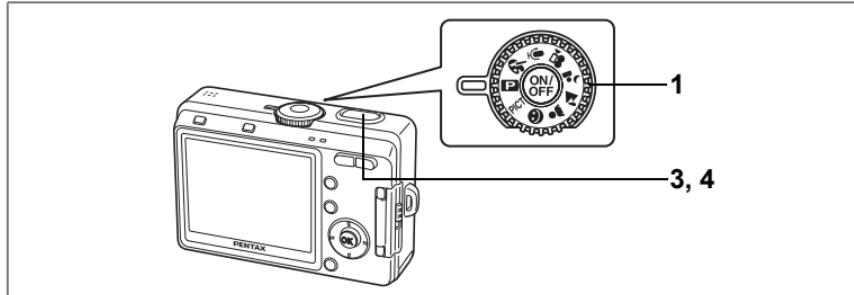
再生モードでは、「十字キー」と「背面ボタン」を切り替えます。

4 十字キー（▲▼）で説明を見たいモードまたはボタンを選ぶ

5 OKボタンを押す

詳細な説明が表示されます。

6 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

機能を設定して撮影する（プログラムモード）

P（プログラムモード）では、シャッター速度と絞り値をカメラが自動的に設定して静止画を撮影します。ストロボの発光方式や連続撮影などその他の機能は自由に設定できます。

1　モードダイヤルをPに合わせる

2　使用する機能を設定する

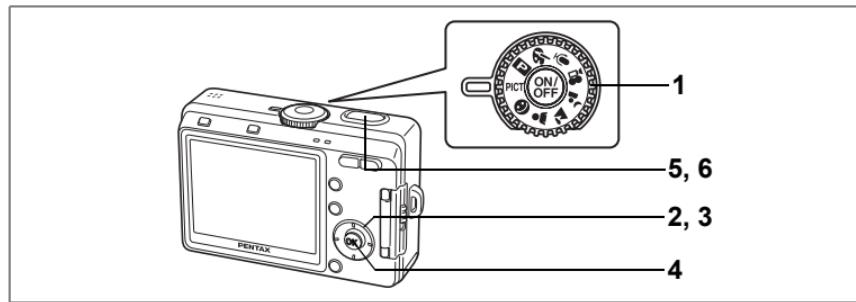
機能の設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」(p.62～p.78)をご覧ください。

3　シャッターボタンを半押しする

ピントの合った位置で、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

静止画を撮影する☞p.28

シーンにあわせた撮影をする（ピクチャーモード）

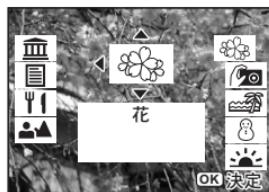
撮りたいシーンにあわせた設定で撮影します。
ピクチャーモードには、以下のように9種類のモードがあります。

	花（初期設定）	花の写真をきれいに仕上げます。
	セルフポートレート	自分撮りやツーショット写真をきれいに仕上げます。
	サーフ	砂浜などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
	スノー	雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
	夕景	夕焼けや朝焼けの写真を美しく描写します。
	美術館	美術館や博物館などのストロボを発光させたくない場所での撮影に使用します。
	テキスト	文字をくっきりと撮影します。
	料理	料理を見たまま鮮やかに仕上げます。
	風景ポートレート	人物と風景をきれいに仕上げます。

1 モードダイヤルをPICTに合わせる

2 十字キー（▼）を押す

ピクチャーモードの選択画面が表示されます。

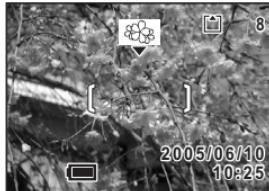
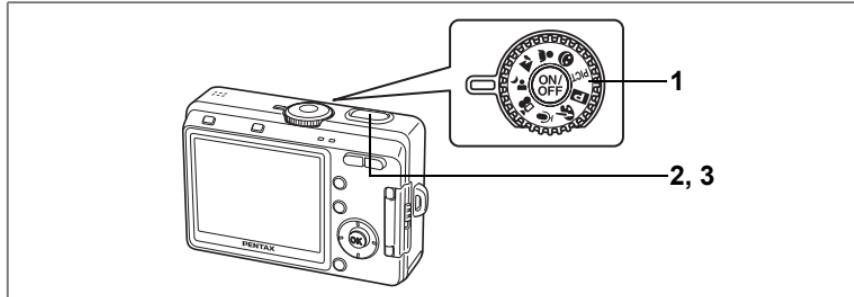
3 十字キー（▲▼◀▶）でピクチャーモードを選択する

4 OKボタンを押す

ピクチャーモードが選択されます。

5 シャッターボタンを半押しする

ピントの合った位置で、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

ピクチャーモードでは、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスが自動的に各モードに最適な値に設定されます（設定値は変更することができますが、動作には反映されません）。

暗いシーンを撮影する（夜景モード）

夜景など暗いシーンに適切な設定で撮影します。

暗いシーンでの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、カメラぶれしないよう、カメラを三脚などに固定して撮影してください。

1 モードダイヤルを夜景に合わせる

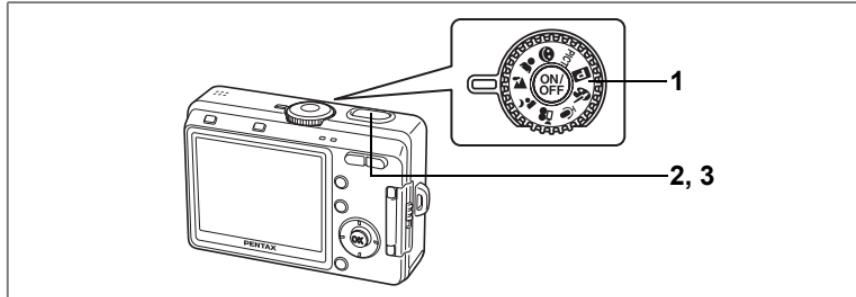
2 シャッターボタンを半押しする

ピントの合った位置で、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

シャッターボタンの押しかた☞p.29

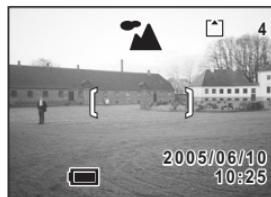
- 遅いシャッター速度での撮影では、撮影後に画像からノイズを取り除く機能が働くため、記録時間が長くなります。
- 夜景モードでは、感度オートの範囲が50～200になります。

風景を撮影する（風景モード）

風景に適切な設定で撮影します。

1　モードダイヤルを🏞に合わせる

2　シャッターボタンを半押しする

ピントの合った位置で、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

シャッターボタンの押しかた☞p.29

人物を撮影する（ポートレートモード）

人物に適切な設定で、肌色を生かして撮影します。

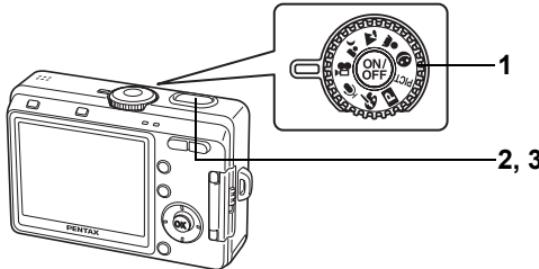
1　モードダイヤルを👤に合わせる

2　シャッターボタンを半押しする

ピントの合った位置で、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

シャッターボタンの押しかた☞p.29

動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

1 モードダイヤルを に合わせる

液晶モニターに次の情報が表示されます。

1 発光禁止マーク　　**2** 動画モードアイコン
3 カード/内蔵メモリー
4 撮影可能時間（時間：分：秒）

2 シャッターボタンを押す

撮影が開始されます。撮影中は、ストロボランプが点滅します。
ズーム/ / ボタンを押すと、デジタルズームで被写体の写る範囲が変わります。
：被写体を拡大して写します。
：被写体を広い範囲で写します。

3 シャッターボタンを押す

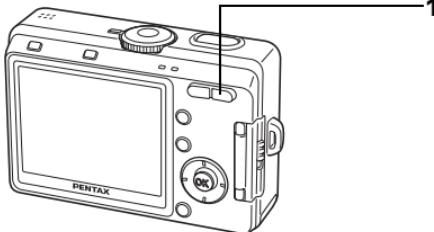
撮影が終了し、ストロボランプが消灯します。

- 動画モードでは、ストロボは発光しません。
- 動画モードでは、連続撮影はできません。
- 動画モードでは、液晶モニターをオフにできません。
- 動画モードで撮影中は、ピントが固定になります。
- 動画モードで撮影中は、光学ズームは使用できません。デジタルズームを使用する場合は、液晶モニターで構図を合わせてください。

動画を再生する☞p.90

デジタルズーム機能をオフにする☞p.54

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、撮影が開始します。シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

☺ PICT Ⓟ

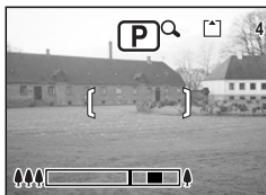
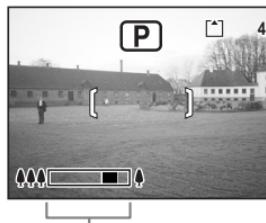
ズームを使って撮影する

ズーム機能を使って、写る範囲を変えて撮影できます。

1 撮影モードでズーム/♠♠♠/♠ ボタンを押す

♠ 望遠：被写体を拡大して写します。
♠♠♠ 広角：被写体を広い範囲で写します。

デジタルズーム「オン」時

初期設定ではデジタルズーム機能がオンになっています。デジタルズーム機能がオンのときは､光学ズームと合わせて最大約8倍相当まで拡大して撮影できます。
「📷 撮影」メニューでデジタルズーム機能をオフにしたときは､3倍までの光学ズームのみの撮影になります。

デジタルズーム「オフ」時

設定したズーム位置を保存する☞p.79

動画モードで撮影中は、光学ズームは使用できません。

デジタルズーム機能をオフにする

1　撮影モードでMENUボタンを押す

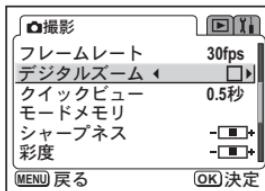
「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で□（オフ）を選ぶ

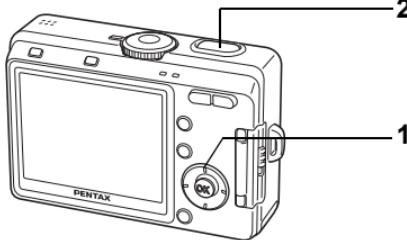
4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

撮影	
フレームレート	30fps
デジタルズーム	□
クイックビュー	0.5秒
モードメモリ	
シャープネス	
彩度	
MENU 戻る	OK 決定

デジタルズーム機能がオンの状態でも、液晶モニターをオフにすると、デジタルズームはオフになります。

- デジタルズームを使用する場合は、液晶モニターで構図を合わせてください。
- 初期設定では、デジタルズームは☑（オン）になっています。

デジタルズーム機能のオン/オフを保存する☞p.79

4
撮影

☺ PICT Ⓟ

セルフタイマーを使って撮影する

1 撮影モードで十字キー（▲）を押して、液晶モニターに またはを表示させる

2 シャッターボタンを半押しする

ピントの合った位置で、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に点灯します。

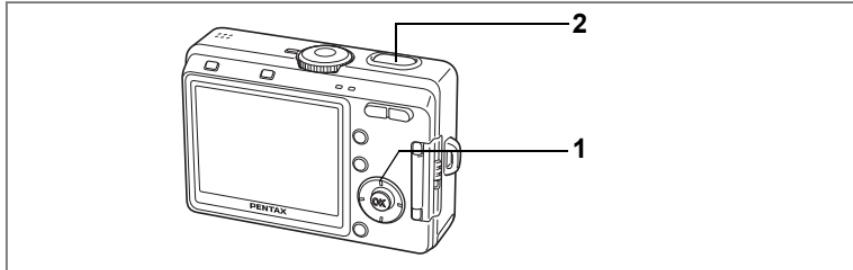
3 シャッターボタンを全押しする

セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが約7秒間点灯します。セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約3秒後に撮影されます。

セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約2秒後に撮影されます。

セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントの位置がずれてしまいます。

- 液晶モニターをオンにすると、カウントダウン表示されます。
- カウントダウン表示中に MENU ボタンなどいずれかのボタンを押すと、セルフタイマーは解除されます。

セルフポートレートを撮影する☞p.47
こんなときには「ピントが合わない」☞p.133

☺ PICT Ⓟ

連続して撮影する（連続撮影）

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1 撮影モードで十字キー（▲）を押して、液晶モニターに⧉を表示させる

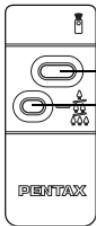
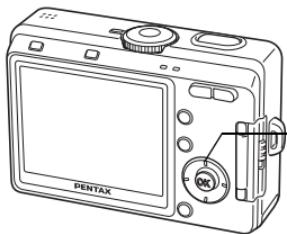
2 シャッターボタンを半押しする

ピントの合った位置で、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3 シャッターボタンを全押しする

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。

- 内蔵メモリーまたは SD メモリーカードの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。

- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- 動画モード、パノラマアシスト、ツーショットでは、連続撮影はできません。
- ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目で固定されます。

リモコン（別売）を使って撮影する

ドライブモードをリモコン撮影に切り替え、ペンタックスカメラ用のリモートコントロール（別売）を使って撮影します。
リモコン受光部はカメラ前面にあります。リモコンはカメラのレンズ側から操作してください。

1 撮影モードで十字キー（▲）を押して、液晶モニターに を表示させる

セルフタイマーランプがゆっくり点滅し、リモコンで撮影できる状態になります。

2 ズームボタンを押して、ズーム操作をする（リモートコントロールEの場合）

ズームボタンを押すごとに、望遠 → 中間 → 広角の順序でズーム位置が切り替わります。

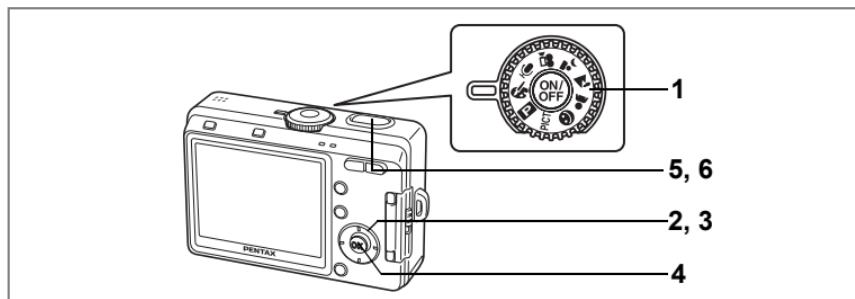
3 リモコンのシャッターボタンを押す

すぐに撮影されます。
セルフタイマーランプが早く点滅し、約3秒後に撮影されます。

- セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。
- フォーカスモードがスーパーマクロモードに設定されている場合には、ズーム倍率は変化しません。

- 本体のボタンは、通常と同じように操作できます。
- リモコンの届く距離は、カメラ正面から約4m程度です。

リモコン用電池の寿命

リモコンからカメラへ約30,000回信号を送信することができます。電池の交換は最寄りのペンタックスお客様窓口にご相談ください。（交換は有料になります。）

色フィルタを設定して撮影する（デジタルフィルタ）

赤、青、緑などさまざまな色をした色フィルタを使用して撮影をすることができます。

1　モードダイヤルを に合わせる

2　十字キー（▼）を押す

デジタルエフェクトモードの選択画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で色フィルタを選ぶ

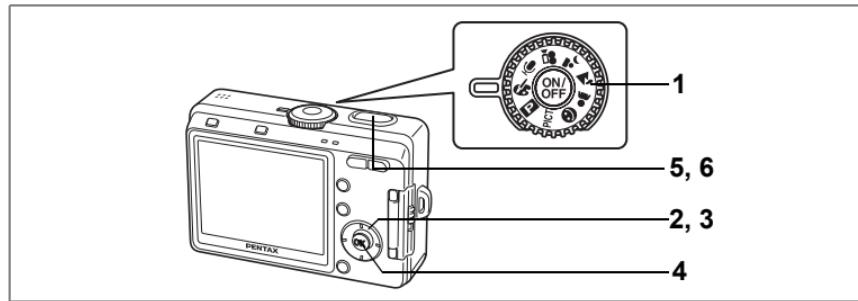
色フィルタは、白黒、セピア、赤、緑、青、白黒＋赤、白黒＋緑、白黒＋青の8種類の中から選択できます。各フィルタの効果（色味）は、フィルタを選択した際、液晶モニターで確認できます。

4　OKボタンを押す

5　シャッターボタンを半押しする

ピントの合った位置で、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

ツーショット合成写真を撮影する（ツーショット）

2回続けて撮影した画像を左右に配置して1枚の画像に合成します。1枚目の画像は左半分に2枚目の画像は右半分に配置されます。

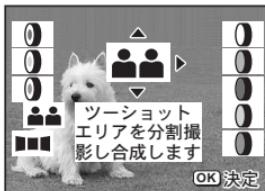
1 モードダイヤルをに合わせる

2 十字キー（▼）を押す

デジタルエフェクトモードの選択画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で、（ツーショット）を選択する

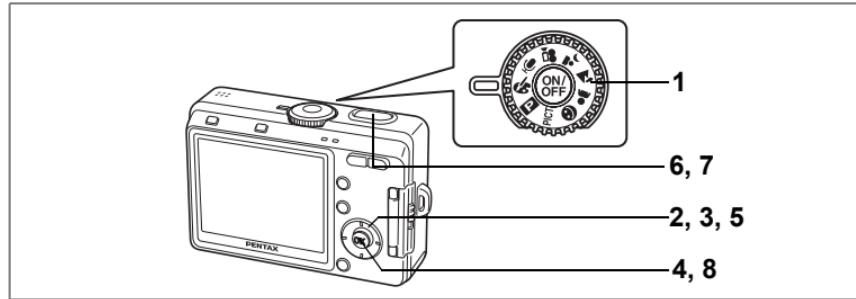
4 OKボタンを押す

1枚目の画像を撮影するための画面が表示されます。

5 1枚目の画像を撮影する

被写体が画面の左側に入るようにして、シャッターボタンを押します。
1枚目の撮影が完了すると、撮影された画像が左半分に半透明で表示されます。

6 2枚目の画像を撮影する

被写体が画面の右側に入るようにして、シャッターボタンを押します。
2枚目の撮影が終了すると、合成画像が作成され、手順5の画面に戻ります。

ツーショット撮影を中止するには、ツーショット以外のモードに切り替えてください。

パノラマ撮影をする（パノラマアシスト）

付属のCD-ROM（S-SW32）に搭載されているソフトウェア（ACDSee for PENTAX）を使って何枚かの写真をつなぎ合わせたパノラマ写真を簡単に作成することができます。パノラマアシストモードを選択すると、あとでパノラマ写真合成が行いやすいよう、画像の端と端が重なるように撮影することができます。

1　モードダイヤルをに合わせる

2　十字キー（▼）を押す

デジタルエフェクトモードの選択画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で、（パノラマアシスト）を選択する

4　OKボタンを押す

5　十字キーでつなげる方向を選ぶ

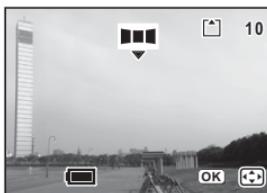
◀画像を左につなぎます。
▶画像を右につなぎます。
▲画像を上につなぎます。
▼画像を下につなぎます。
ここでは▶を選んだ場合について説明します。

4 撮影

6　1枚目の画像を撮影する

シャッターボタンを押すと1枚目の画像が撮影され、1枚目の画像の右端が液晶モニターの左端に透過表示されます。

7　カメラを右に移動し2枚目の画像を撮影する

実画像表示が左端の透過表示に重なるようにカメラを移動し、シャッターを切ります。3枚目以降の画像も、手順6、7を繰り返して撮影します。

8　OKボタンを押す

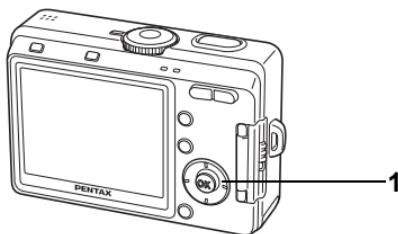
手順5の画面に戻ります。

パノラマ撮影を中止するには、パノラマアシスト以外のモードに切り替えてください。

- パノラマ合成はカメラ本体ではできません。付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX）のPhotostitcher機能を使用します。パノラマ合成の方法については、別冊の『ACDSee for PENTAX ユーザーズマニュアル』の「Photostitcher機能」（p. 23）をご覧ください。
- パノラマアシストでは、連続撮影はできません。

☺ PICT Ⓟ

フォーカスの設定を変える

フォーカスモード

（表示なし）	オートフォーカスモード	シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。被写体までの距離が40cm以上のときに使用します。
	マクロモード	被写体までの距離が約18cm～50cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
s	スーパーマクロモード	被写体までの距離が約6cm～20cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
▲	遠景モード	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアルフォーカスモード	手動でピントを合わせます。

1 撮影モードで十字キー（▶）を押す

押すたびにフォーカスモードが切り替わり、液晶モニターにアイコン表示されます。
設定したフォーカスモードで撮影できます。

- フォーカスモードの初期設定は、オートフォーカスモードです。
- スーパーマクロモードでは、ズームが中間位置に固定され、デジタルズームのみ使用できます。

フォーカスモードをマクロモードまたはスーパーマクロモードに設定しているときは、必ず液晶モニターで確認してください。

マニュアルでフォーカスを設定する

MF（マニュアルフォーカスモード）に設定すると、ピント調節時、画面中央部が液晶モニターいっぱいに拡大表示されます。十字キー（▲▼）を押すと、液晶モニターにインジケータが表示されます。これを目安に、十字キー（▲▼）で画面のピントを合わせます。

遠くにピントが合います。

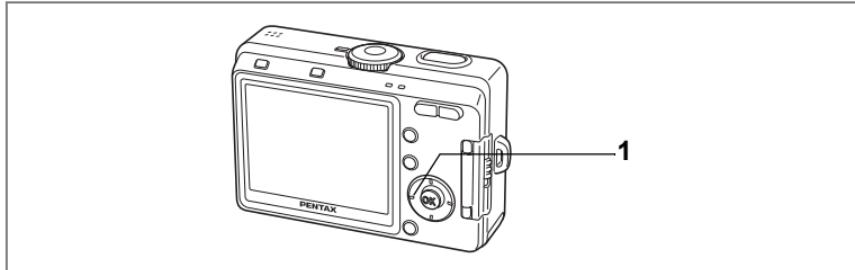
近くにピントが合います。

インジケータ

フォーカス位置が決まったら、十字キー（▲▼）以外のボタンを押すか、または十字キー（▲▼）から指を離して約2秒たつと、通常の撮影画面に切り替わります。

設定しているときに、十字キー（▲▼）を押し続けると、速くピント合わせができます。

フォーカスモードを保存する☞p.79

☺ PICT P

ストロボの発光方法を選択する

ストロボの発光方法

(表示なし)	自動発光（オート）	暗い時や逆光の時にストロボを発光します。
⊛	発光禁止	暗い時や逆光の時でも発光しません。夕景撮影や美術館などストロボの使えない場所での撮影にご利用ください。
ϟ	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
	自動発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。常にストロボを発光します。

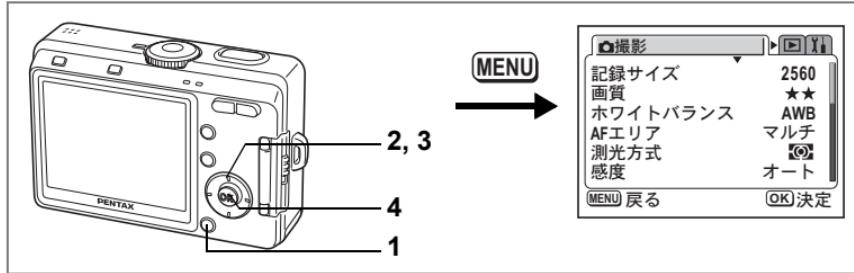
- 撮影モードが にセットされているか、連続撮影、またはフォーカスモードが▲に設定されているときは、常に発光禁止になります。
- 本機は、ストロボ発光の際、プリ発光（予備発光）の後、2回目の発光（本発光）で撮影を行います。赤目軽減機能を使用した場合は、プリ発光と本発光の間隔が長くなります。
- ストロボ撮影範囲（撮影範囲は、感度や撮影条件により変わります）
  ワイド　：約0.2m～約4.9m（夜景モード時：約0.2m～約3.5m）
  テレ　　：約0.2m～約2.8m（夜景モード時：約0.2m～約2m）

1　撮影モードで十字キー（◀）を押す

押すたびに発光方法が切り替わり、液晶モニターにアイコン表示されます。
設定したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

ステータスランプとストロボランプの状態☞p.29

ストロボ発光方法を保存する☞p.79

PICT P

記録サイズを選択する

画像の記録画素数を「2560×1920」「2304×1728」「2048×1536」「1600×1200」「1024×768」「640×480」から選べます。
画素数が多くなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。また、画像の容量は画質の設定（☞p.66）によっても異なります。

記録サイズ

2560×1920	きれい ↑	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大型プリント、画像編集・加工など
2304×1728		
2048×1536		
1600×1200		
1024×768		ハガキサイズプリント
640×480		ホームページ掲載・電子メール添付など

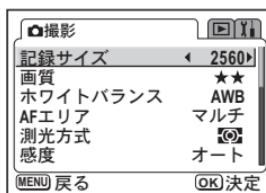
1 撮影モードでMENUボタンを押す

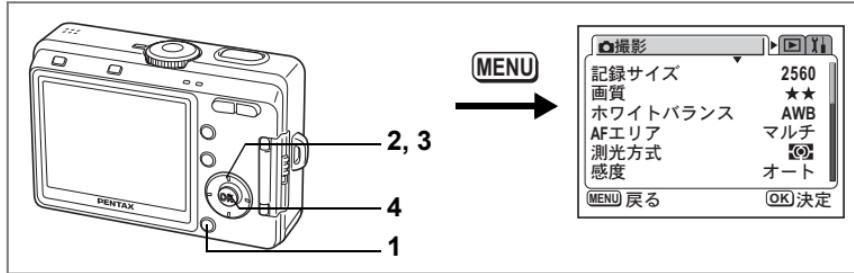
「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で記録サイズを切り替える

4 OKボタンを押す

撮影ができる状態になります。

- 動画モードでは「320×240」に固定されます。
- 記録サイズを大きくすると、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。
- 記録サイズの設定は、電源をオフにしても保持されます。

記録サイズと画質☞p.21

PICT P

画質を選択する

画像の圧縮率が選べます。
★の数が多いほど、画質はきれいになり容量も増えます。また、画像の容量は、記録サイズの設定（☞p.65）によっても異なります。

画質

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、A4サイズなどの大きな写真のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

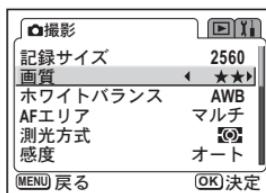
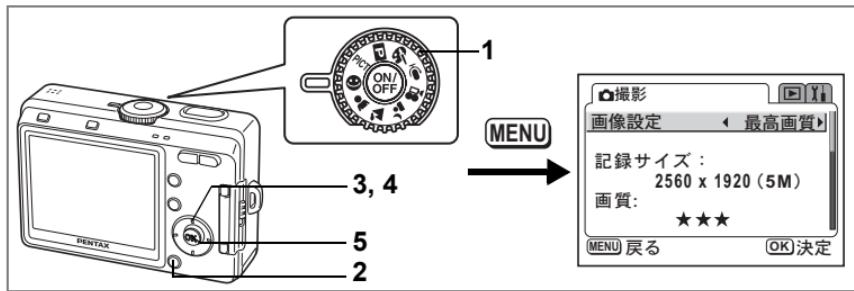
1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で画質を切り替える

4 OKボタンを押す

撮影ができる状態になります。

画質の設定は、電源をオフにしても保持されます。

記録サイズと画質☞p.21

4 撮影

☺

画像設定を選択する

イージーモードでは記録サイズと画質をセットで設定します。各設定での記録サイズと画質の組み合わせは以下の通りです。

画像設定

設定	記録サイズ	画質	画素数（※）		用途
最高画質	2560×1920	★★★	5M	きれい ↑	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大型プリント、画像編集・加工など
高画質	2560×1920	★★	5M		
標準画質	2048×1536	★★	3M		
メール画質	640×480	★★	0.3M		ハガキサイズプリント ホームページ掲載・電子メール添付など

※MはMega Pixel（メガピクセル）を表します。1メガピクセルで100万画素になります。

1　モードダイヤルを☺に合わせる

2　撮影モードでMENUボタンを押す

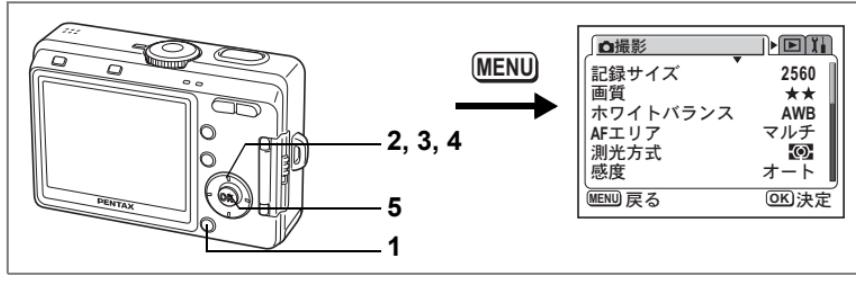
「撮影」メニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して「画像設定」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で画像設定を切り替える

5　OKボタンを押す

撮影ができる状態になります。

画像設定は☺（イージーモード）だけの機能です。その他のモードでは、「記録サイズ」と「画質」をそれぞれ設定してください。（☞p.65、p.66）

4
撮影

Ⓟ

ホワイトバランスを調整する

被写体の色は光源によって変わります。例えば、日中の光があたっているときと電球の光があたっているときとでは、同じ白い被写体であっても白の色が違います。ホワイトバランスでは、光源に応じて白の色を調整します。

ホワイトバランス

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
☼	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
⌂	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
☀	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
蛍	蛍光灯	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
凸	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「ホワイトバランス」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ホワイトバランス選択画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で設定を選ぶ

5 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

ホワイトバランスを保存する☞p.79

4 撮影

マニュアルで設定する

あらかじめ、白い紙などホワイトバランスの調整に用いる素材を用意しておきます。

1　「ホワイトバランス」選択画面で（マニュアル）を選ぶ

2　ホワイトバランスの調整に用いる素材（白い紙など）にレンズを向け、液晶モニターの四角枠いっぱいに素材がはいるよう、カメラを構える

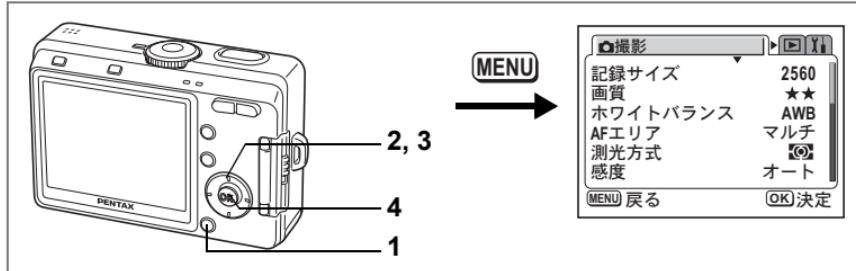
3　OKボタンを押す

ホワイトバランスが自動的に調整されます。調整中は液晶モニターに「調整中」と表示されます。
ホワイトバランスが自動調整されると、液晶モニターに「完了」と表示され、メニュー画面に戻ります。

4　OKボタンを押す

撮影できる状態に戻ります。

PICT、、では、ホワイトバランスの変更は無効です。

PICT P

オートフォーカス範囲を設定する

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を設定します。

AFエリア

マルチ	通常範囲に設定します。フォーカスフレームの中で、最も近くの被写体にピントが合いますので、ピントの中抜けがしにくくなります。
スポット	フォーカスが合う範囲を画面中央部のみに狭めます。特定の被写体のみに合わせたい場合に設定します。

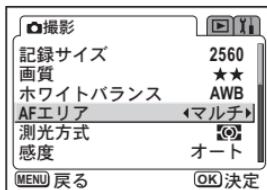
1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

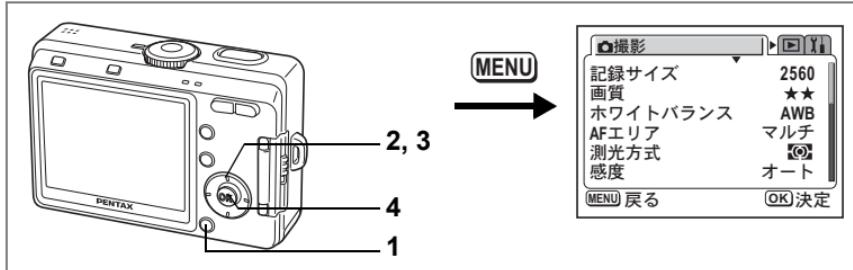
2 十字キー（▲▼）を押して「AFエリア」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）でAFエリアを切り替える

4 OKボタンを押す

撮影できる状態に戻ります。

マルチに設定すると、シャッターボタンを押したときに、ピントの合った位置でフォーカスフレームが点灯します。

AFエリアを利用したピント合わせを行う場合は、必ず液晶モニターで確認してください。

AFエリアの設定を保存する☞p.79

PICT

測光方式を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

測光方式

	分割	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
	中央部重点	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
	スポット	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

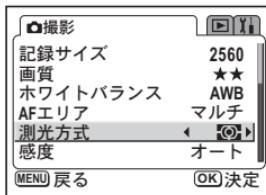
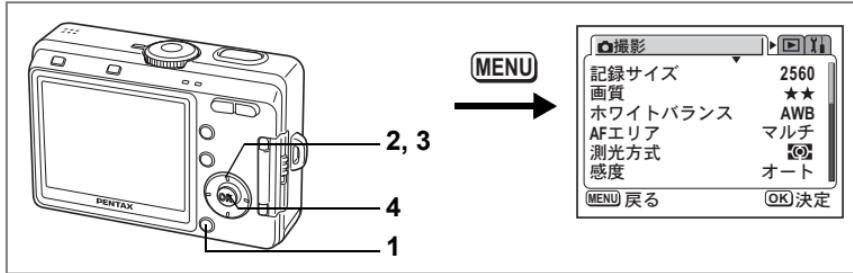
2 十字キー（▲▼）を押して「測光方式」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で測光方式を選ぶ

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

測光方式を保存する☞p.79

4 撮影

PICT P

感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。

感度

オート	50～400（夜景モードでは50～200）の間で自動的に設定されます。
50	• 感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ないシャープな画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • 感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を早くできます。画像にはノイズが増えます。
100	
200	
400	

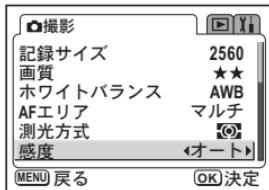
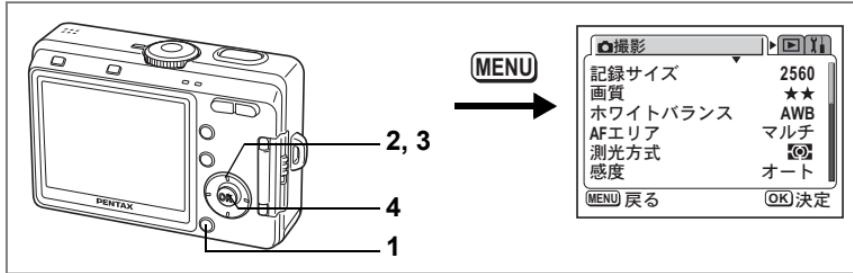
1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「感度」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で感度を選ぶ

4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

感度を保存する☞p.79

4 撮影

フレームレートを設定する

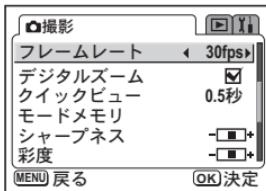
フレームレートを30フレーム/秒（fps）か15fpsから選択します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「フレームレート」を選ぶ

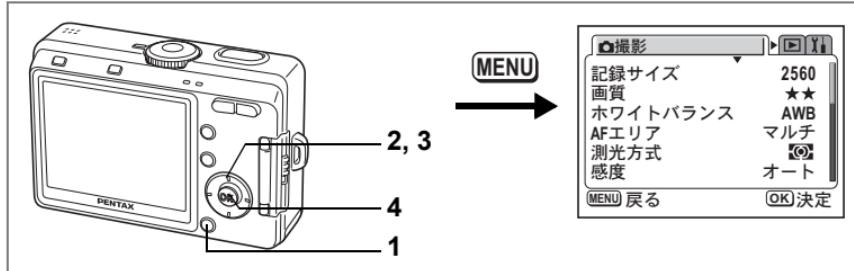
3 十字キー（◀▶）でフレームレートを選ぶ

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

フレームレートの設定は、電源をオフにしても保持されます。

PICT

クイックビューの時間を設定する

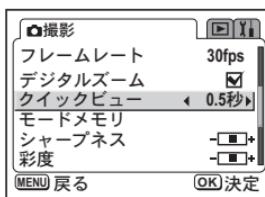
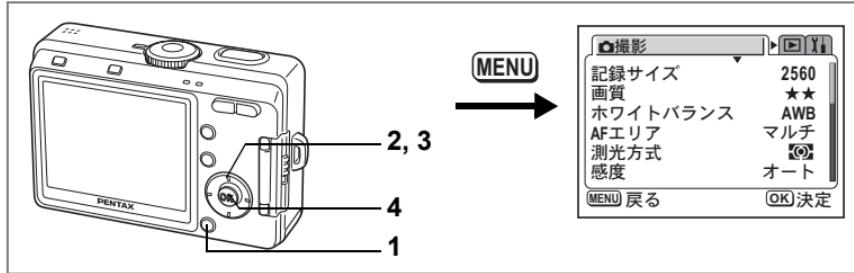
クイックビュー（撮影直後の画像表示）の表示時間を0.5秒、1秒、2秒、3秒、5秒、オフ（表示しない）から選べます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「クイックビュー」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で表示時間を選ぶ

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

クイックビューの設定は、電源をオフにしても保持されます。

4 撮影

シャープネスを設定する

画像の輪郭をハードまたはソフトにします。

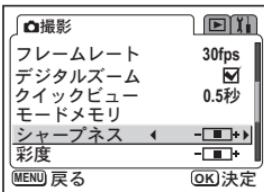
1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

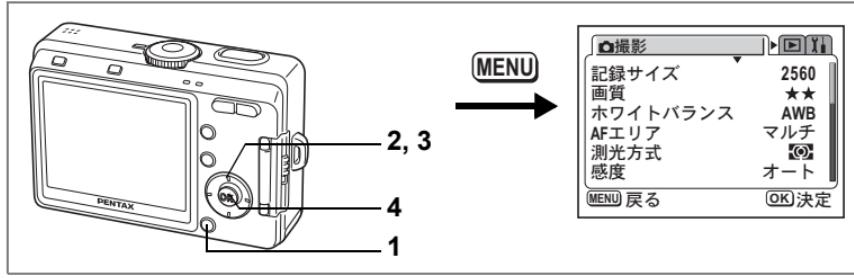
2　十字キー（▲▼）を押して「シャープネス」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で（ソフト）（標準）（ハード）を切り替える

－側がソフト、＋側がハードになります。

撮影
フレームレート 30fps
デジタルズーム
クイックビュー 0.5秒
モードメモリ
シャープネス
彩度
MENU 戻る
OK 決定

4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

- PICT、、では、シャープネスの変更は無効です。
- シャープネスの設定は、電源をオフにしても保持されます。

彩度を設定する

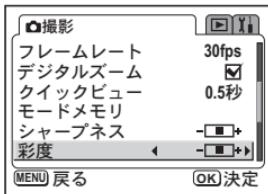
色の鮮やかさを設定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

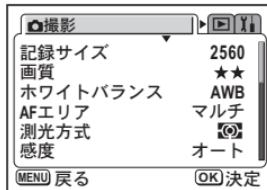
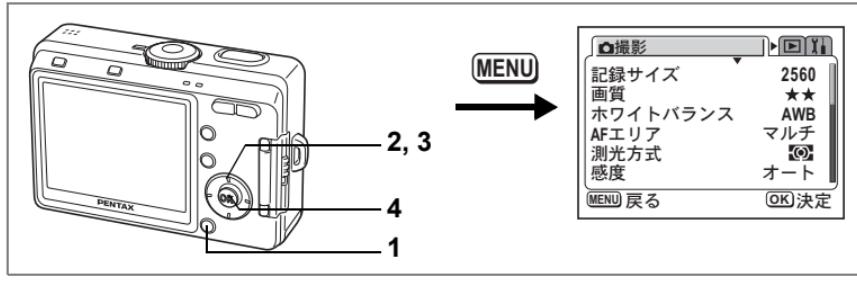
「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「彩度」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で（低）（標準）（高）を切り替える

－側が彩度が低く、＋側が彩度が高くなります。

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

- PICT、、では、彩度の変更は無効です。
- 彩度の設定は、電源をオフにしても保持されます。

コントラストを設定する

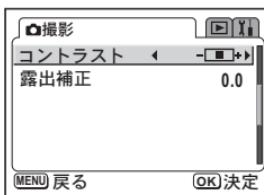
画像の明暗差を設定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

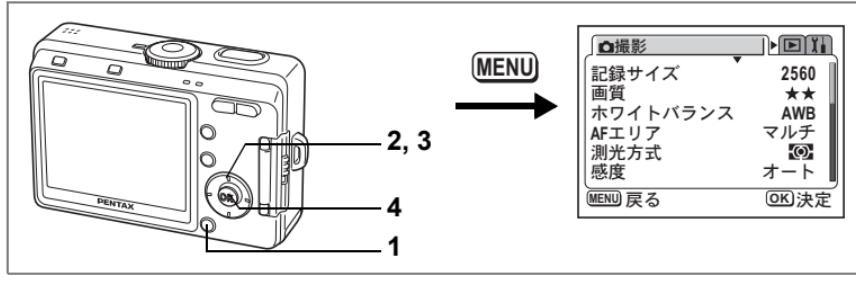
2 十字キー（▲▼）を押して「コントラスト」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で（低）（標準）（高）を切り替える

－側がコントラストが低く、＋側がコントラストが高くなります。

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

- PICT、、では、コントラストの変更は無効です。
- コントラストの設定は、電源をオフにしても保持されます。

4 撮影

PICT

露出を補正する

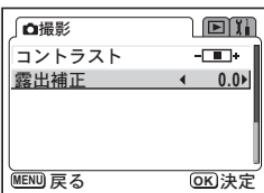
撮影する画像全体の明るさを調整します。
意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影する際に利用します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「露出補正」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で露出補正量を選ぶ

明るくする場合は＋側に、暗くする場合は－側に設定します。
露出補正の値は、－2.0EV～＋2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます。

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

撮影モード中、十字キー（◀▶）には、ファンクション機能の初期設定で露出補正が設定されています。/Fnボタンを押すと、十字キー（◀▶）で露出を補正できます。（☞p.126）

露出補正値を保存する☞p.79

4 撮影

設定を保存する

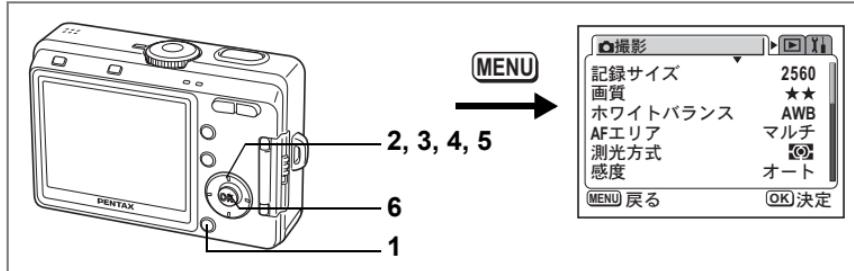
メニュー項目を保存する（モードメモリ）

電源をオフにしたときに、撮影のために設定した値をメモリー（保存）するかどうかを選びます。☑（オン）を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリーします。□（オフ）を選ぶと、電源をオフにしたときに初期設定に戻ります。

項目	内容	初期設定
ストロボ	⚡ボタンで設定したストロボモードを保存します。	☑
ホワイトバランス	「📷撮影」メニューの「ホワイトバランス」での設定を保存します。	□
露出補正	「📷撮影」メニューの「露出補正」で設定した露出補正値を保存します。	□
AFエリア	「📷撮影」メニューの「AFエリア」で設定したAFエリアを保存します。	□
測光方式	「📷撮影」メニューの「測光方式」で設定した測光方式を保存します。	□
感度	「📷撮影」メニューの「感度」で設定した値を保存します。	□
デジタルズーム	「📷撮影」メニューの「デジタルズーム」でのオン/オフの設定を保存します。	☑
フォーカス方式	🌷▲MFボタンで設定したフォーカスモードを保存します。	□
ズーム位置	ズームボタンで設定した光学ズーム位置を保存します。	□
MF位置	マニュアルフォーカスの位置を保存します。	□
DISPLAY	液晶モニターの表示モードを保存します。	□
ファイルNo	ファイル番号を保存します。SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連番でファイル名を作成します。	☑

- 「モードメモリ」に含まれないメニュー項目は、電源をオフにした後も、各機能のメニュー画面で設定された値が保持されます。
- デジタルズーム領域で設定したズーム位置は、「モードメモリ」の「ズーム位置」をオンにしても保存されません。
- 「MF位置」を☑（オン）にすると、「ズーム位置」も同時に☑（オン）になります。（「ズーム位置」は、単独で☑（オン）にすることができます。）

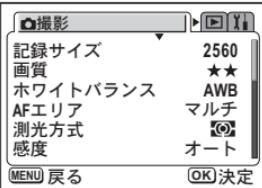
MENU
2, 3, 4, 5
6
1

撮影
記録サイズ 2560
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AFエリア マルチ
測光方式
感度 オート
MENU 戻る OK 決定

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

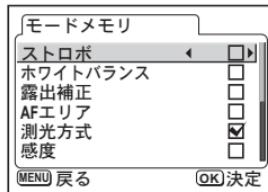
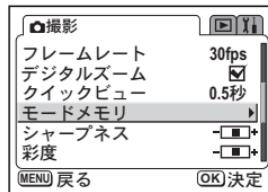
2　十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ

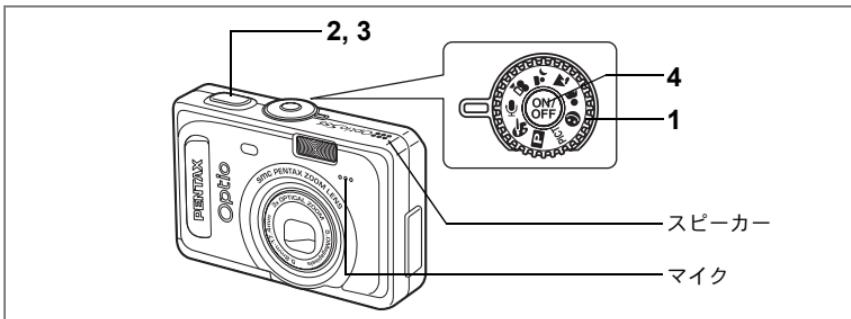
3　十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」メニューが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で項目を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で☑（オン）/□（オフ）を切り替える

6　OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

音声を記録します。SDメモリーカードまたは内蔵メモリーの空き容量に応じて、録音できる時間が表示されます。

1　モードダイヤルを🎙に合わせて、電源スイッチを押す

液晶モニターに録音可能な時間が表示されます。
1 残り録音可能時間
2 録音時間

2　シャッターボタンを押す

録音が開始されます。録音中は、セルフタイマーランプとストロボランプが点滅します。

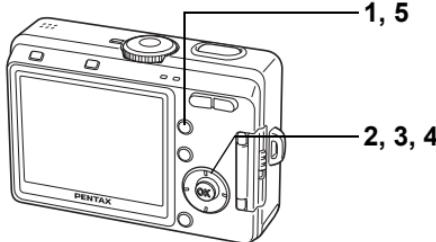
3　シャッターボタンを押す

録音が終了します。残り録音可能時間が表示されます。

4　電源を切ってボイスレコーディングモードを終了する

- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。
- マイクはカメラ前面にあります。最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。

音声を再生する

ボイスレコーディングモードで録音した音声を再生します。

1　▶再生ボタンを押す

2　十字キー（◀▶）で再生したい音声を選ぶ

3　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

• 再生中にできる操作

十字キー（▲）	再生を一時停止する
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠）	音量を大きくする
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠♠♠）	音量を小さくする

4　十字キー（▼）を押す

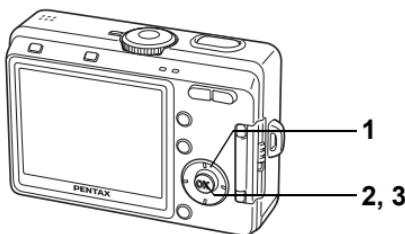
再生が停止します。

5　▶再生ボタンを押す

録音モードに切り替わります。

ボイスレコーディング以外の撮影モードから再生モードに入ったときは、手順5で元の撮影モードに切り替わります。続けて新たに録音するときは、モードダイヤルを🎙に合わせてください。

画像に音声を付ける（ボイスメモ）

撮影した画像に音声（ボイスメモ）を付けることができます。

録音する

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選ぶ

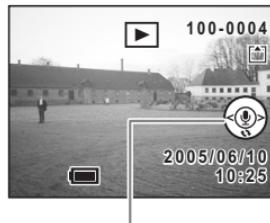
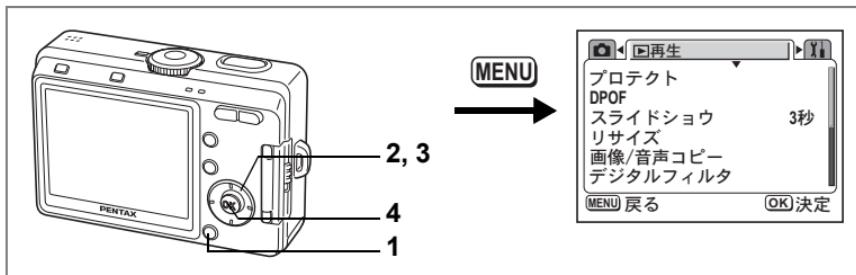
再生された画像にボイスメモが付いていなければ、液晶モニターの十字キー操作ガイドに🎙が表示されます。

十字キー操作ガイド

2　OKボタンを押す

ボイスメモの録音を開始します。ボイスメモは最長30秒録音できます。

3　OKボタンを押す

ボイスメモの録音が終了します。

ボイスメモの録音をオン/オフする

誤ってボイスメモを録音してしまうことを防止するため、静止画の再生時にボイスメモを録音できないように設定できます。

1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

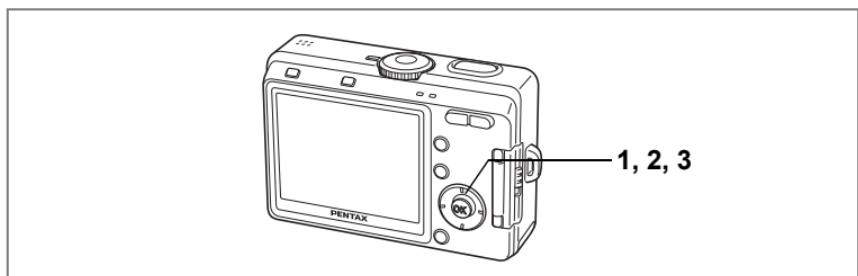
2　十字キー（▲▼）を押して「ボイスメモの録音」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で「オン」「オフ」を切り替える

オン：静止画の再生時にボイスメモを録音できます。（初期設定）
オフ：静止画の再生時にボイスメモを録音できません。

4　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

ボイスメモの録音設定をオフにすると、静止画の再生時に🎙が表示されなくなります。

再生する

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを再生する画像を選ぶ

再生された画像に［♪］が付いていれば、ボイスメモが録音されています。

2　十字キー（▲）を押す

録音されたボイスメモが再生されます。

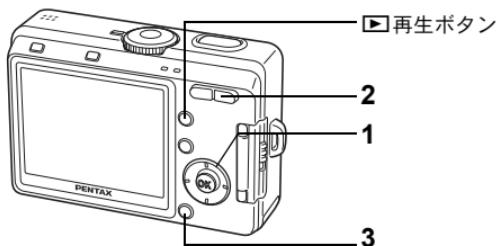
3　十字キー（▼）を押す

ボイスメモの再生が停止します。

ボイスメモを消去する☞p.95

すでにボイスメモが録音されている画像にボイスメモを上書きすることはできません。いったんボイスメモを消去してから、もう一度録音してください。（☞p.95）

プロテクト（О‑ㅠ）されている画像にボイスメモを付けることはできません。

画像を再生する

静止画を再生する

▶再生ボタンを押します。
操作方法は「画像を再生する」（p.30）をご覧ください。

拡大して再生する

再生する画像を最大12倍まで拡大表示できます。拡大中は液晶モニターにガイドが表示されます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2　ズーム/⊞/🔍ボタンの♠/🔍を押す

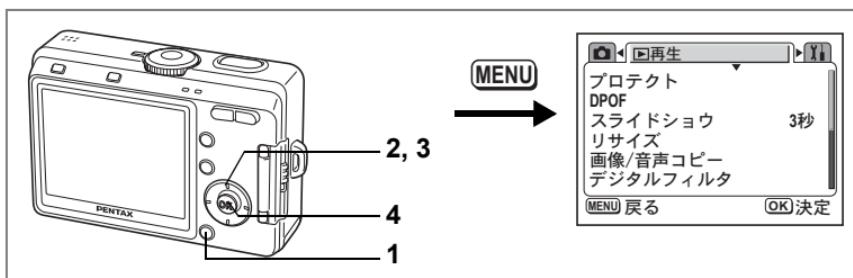
画面が大きく（1倍～12倍）表示されます。
押し続けると連続的に大きさが変わります。

拡大表示中にできる操作

十字キー（▲▼◀▶）　拡大位置を移動する
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠）　画像を大きくする
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠♠♠）　画像を小さくする

3　MENUボタンを押す

拡大再生が終了します。

- 動画は拡大表示できません。
- 再生専用モードで起動している場合、▶再生ボタンを押しても撮影モードにはなりません。電源を入れ直してください。

クイック拡大をオン/オフする

拡大再生時にズーム/▦/🔍ボタンを1回押すだけで、画像を最大倍率まで拡大できます。

1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

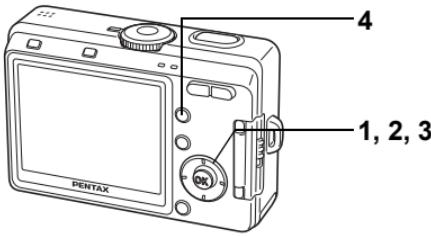
2　十字キー（▲▼）を押して「クイック拡大」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で「オン」「オフ」を切り替える

オン：ズーム/▦/🔍ボタンの♠/🔍を1回押すと、最大倍率まで拡大する。

オフ：ズーム/▦/🔍ボタンの♠/🔍を1回押すと、1段階ずつ拡大する。

4　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

動画を再生する

動画を再生します。再生中は液晶モニターに操作ガイドが表示されます。音声も同時に再生されます。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2 十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

- **再生中にできる操作**

十字キー（◀）	逆方向に再生する
十字キー（▶）	順方向に再生する
十字キー（▲）	一時停止する
ズームボタン♠♠♠/♠	音量を調整する

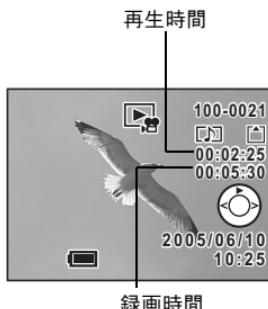
- **一時停止中にできる操作**

十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	一時停止を解除する（再生する）

3 十字キー（▼）を押す

再生が停止し、再生開始画面に戻ります。

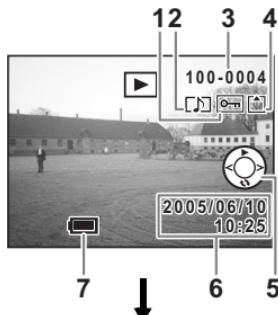
4 ▶再生ボタンを押す

撮影モードに切り替わります。

撮影時の情報を表示する

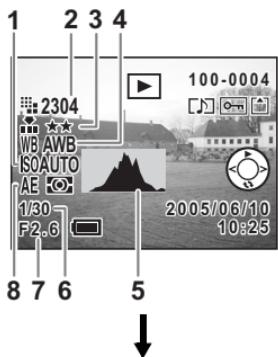
再生モード時にDISPLAYボタンを押すと、表示中の画像に関する撮影情報などの表示（ディスプレイモード）が切り替わります。

通常表示

撮影時の情報を表示します。

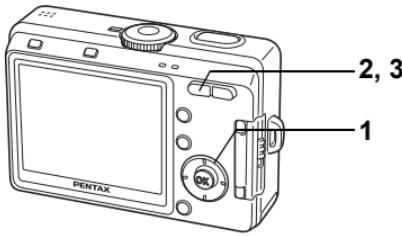
1 プロテクトマーク　**2** ボイスメモマーク
3 フォルダ名・ファイル名
4 カード/内蔵メモリー
5 十字キー操作ガイド　**6** 撮影日時
7 バッテリー残量表示

ヒストグラム表示

画像の明度分布を表示します。ヒストグラムの横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 感度	**2** 記録サイズ
3 画質	**4** ホワイトバランス
5 ヒストグラム	**6** シャッター速度
7 絞り値	**8** 測光方式

情報表示なし

撮影情報を表示しません。

通常表示

液晶モニターの表示モードを保存する☞p.79

9画像ずつ表示する

撮った画像を液晶モニターに同時に9枚ずつ表示できます。

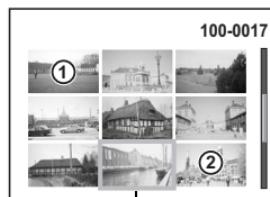
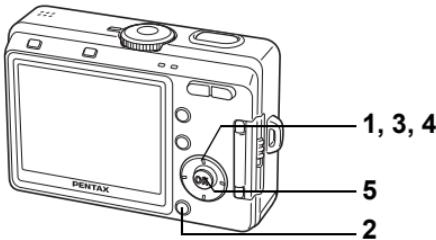
1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で画像を選ぶ

2　ズーム/⊞/🔍ボタンの⫶⫶⫶/⊞を押す

画像が小さなコマで9コマずつ表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で選択します。10以上の画像が記録されている場合、①の画像を選択しているときに十字キー（◀）を押すと前の9画像が表示され、②の画像を選択しているときに十字キー（▶）を押すと次の9画像が表示されます。

選択画像

3　ズーム/⊞/🔍ボタンの⫶⫶⫶/⊞または⫯/🔍を押す

選択した画像が全画面表示されます。
▶ボタン、?/Fnボタン、OKボタンまたはDISPLAYボタンを押しても、選択した画像の全画面表示に戻れます。

画像の選択中に🗑消去ボタンを押すと、画像の消去画面が表示されます。

スライドショウで連続再生する

SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された全画像を連続して再生します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2　MENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

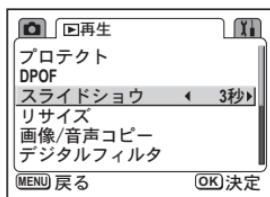
▶再生
プロテクト
DPOF
スライドショウ　◀　3秒▶
リサイズ
画像/音声コピー
デジタルフィルタ
MENU 戻る　OK 決定

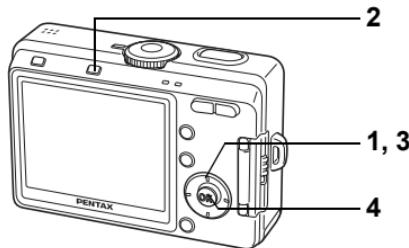
3　十字キー（▲▼）で「スライドショウ」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で再生間隔を切り替える

3秒、5秒、10秒、20秒、30秒から選択できます。

5　OKボタンを押す

「スタート」と表示され、設定した時間間隔でスライドショウが始まります。
OKボタン、MENUボタンなど、どれかのボタンを押すと、「ストップ」と表示され、スライドショウが停止します。

- スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで何度でも繰り返します。
- 動画、ボイスメモ付き画像は、設定した再生間隔にかかわらず、すべて再生されてから次の再生に移ります。
- ボイスレコディングモードで録音した音声は、再生されません。

消去する

1画像、1音声ずつ消去する

1画像、1音声ずつ消去します。

- 消去した画像は復元できません。
- プロテクトされた画像からは、消去画面を表示させることができません。（☞p.97）

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像または音声を選ぶ

2 🗑消去ボタンを押す

消去画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4 OKボタンを押す

消去されます。

- 画像の消去は、クイックビュー（☞p.74）で画像表示中に行なうこともできます。ただし表示時間を0.5秒に設定している場合は、消去できません。
- 画像の消去は、9画像ずつ表示している場合（☞p.92）にも行うことができます。
  ただしプロテクトされている画像は、消去できません。（☞p.97）
- 「▶再生」メニューの「クイック消去」をオンに設定すると手順3の操作を省略することができます。（☞p.95）

ボイスメモを消去する

ボイスメモ付きの画像の場合は、画像は消去せずにボイスメモのみを消去することができます。

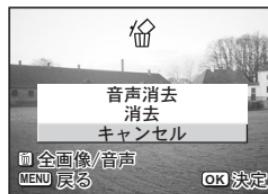
1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したいボイスメモ付きの画像を選ぶ

2　🗑消去ボタンを押す

消去画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「音声消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

ボイスメモが消去されます。

画像とボイスメモの両方を消去するには、手順3で「消去」を選びます。

クイック消去をオン/オフする

クイック消去をオンに設定すると、消去画面が表示されたとき、「消去」が選択された状態になり、消去手順が簡単になります。

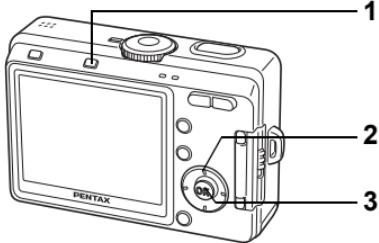
1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「クイック消去」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で「オン」と「オフ」を切り替える

4　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

まとめて消去する

保存されている全画像、全音声を消去します。

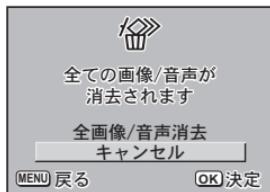
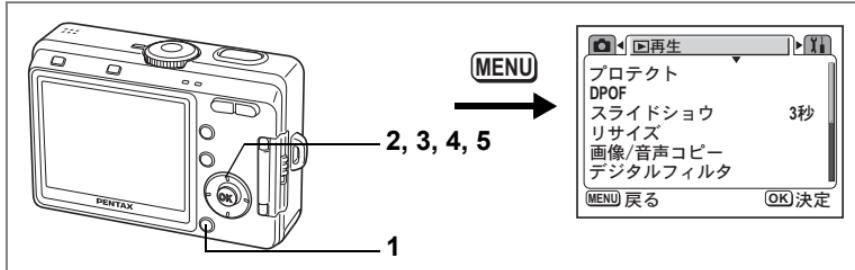
- 消去した画像は復元ができません。
- プロテクトされている画像や音声は消去できません。

1 再生モードで 🗑 消去ボタンを2回押す

全画像/音声消去画面が表示されます。

2 十字キー（▲）で「全画像/音声消去」を選ぶ

3 OKボタンを押す

全画像、全音声が消去されます。

画像の消去は、クイックビュー（☞p.74）で画像表示中に行なうこともできます。

消去できないようにする（プロテクト）

画像や音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

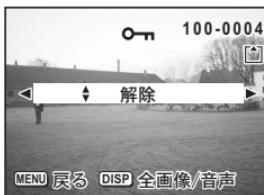
1　再生モードでMENUボタンを押す

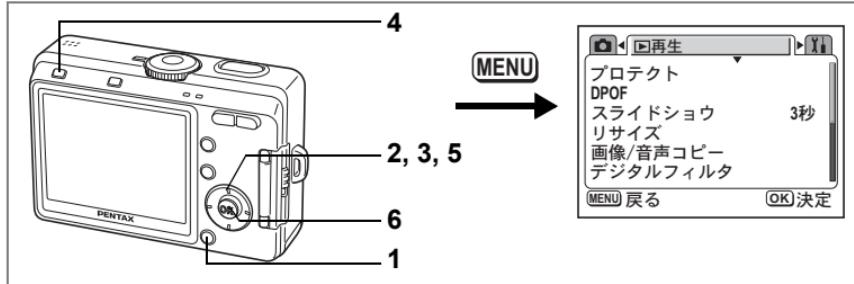
「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「プロテクト」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

プロテクト画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）でプロテクトする画像または音声を選ぶ

5　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

画像または音声に⊶が表示されます。
「解除」を選ぶとプロテクトが解除されます。

全ての画像と音声をプロテクトするには

全ての画像と音声をプロテクトすることができます。

1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「プロテクト」を選ぶ

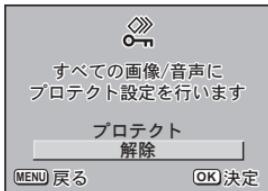
3　十字キー（▶）を押す

プロテクト画面が表示されます。

4　DISPLAYボタンを押す

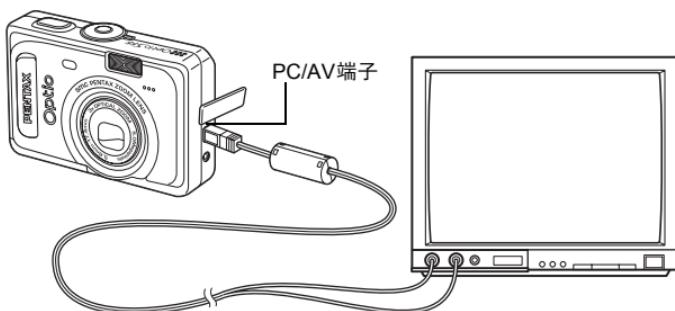
全画像プロテクト画面が表示されます。

5　十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

6　OKボタンを押す

手順5で「解除」を選ぶと、全ての画像と音声のプロテクト設定が解除されます。

SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットすると、プロテクトされた画像や音声も消去されます。

6
再生・消去・画像編集

テレビで画像を見る

AVケーブルを使用すると、テレビなど、ビデオ入力端子を備えた機器をモニターにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

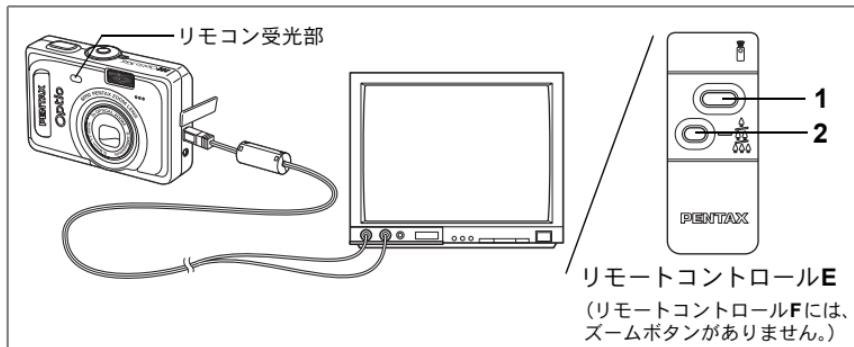
1　端子カバーを開き、PC/AV端子にAVケーブルを接続する

2　AVケーブルのもう一方の端子を、テレビの映像入力端子と音声入力端子に接続する

ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

3　テレビとカメラの電源を入れる

ビデオの出力方式を切り替える☞p.123

長時間使用するときは、ACアダプターキットK-AC5J（別売）の使用をおすすめします。テレビなど接続する機器の使用説明書もご覧ください。

リモコン（別売）を使って再生画像の送り/戻しを操作する

テレビモニターで画像を再生中に、リモコンを使って次の画像への送り/前の画像への戻し操作を行うことができます。

1 リモコンのシャッターボタンを押す

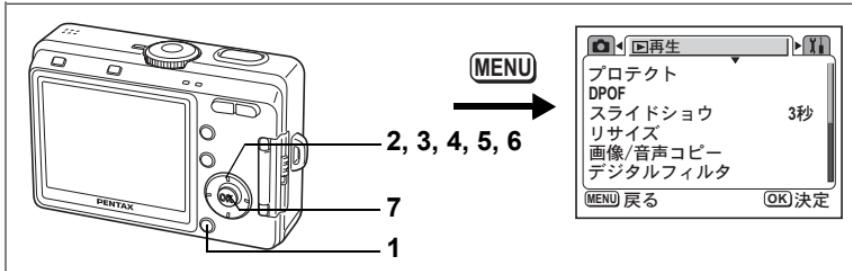
現在再生中の次の画像が再生されます。

2 リモコンのズームボタンを押す

現在再生中の一つ前の画像が再生されます。

- AVケーブルを接続している場合のみ、リモコンを使った送り/戻し操作は有効です。
- 1画面表示（通常）の静止画についてのみリモコンを使った送り/戻し操作を行うことができます。動画、音声付静止画、音声のみのファイルについては、リモコンを使っての再生・停止ができませんので、本体の操作キーを使用して再生・停止を行ってください。また動画、音声付静止画、音声のみのファイルの再生中・一時停止中は、リモコンでの操作は一切できません。
- リモコンで画像の送り/戻し操作を行うには、リモートコントロールE（別売）が必要です。
- リモートコントロールF（別売）では、画像の送り操作のみ行うことができます。

プリントサービスの設定をする（DPOF）

SDメモリーカードや内蔵メモリーに保存した画像は、DPOF（Digital Print Order Format）対応プリンターやラボプリントサービスでプリントできます。

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。
枚数：プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
日付：プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。
内蔵メモリーに記録されている画像に設定する場合は、カメラにSDメモリーカードが入っていないことを確認してください。

1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「DPOF」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

DPOF設定画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選び、十字キー（▼）を押す

選択枠が「枚数」に移動します。

6 再生・消去・画像編集

5 十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定し、十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

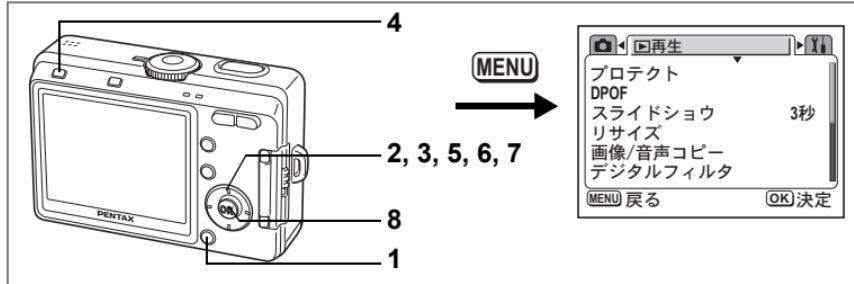
6 十字キー（◀▶）で日付の☑（オン）/□（オフ）を設定する

☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

7 OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

- すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン/オフが表示されます。
- DPOFを解除するには、枚数を「0」に設定して、OKボタンを押します。
- 内蔵メモリーに記録されている DPOF 画像をプリント取扱い店などでプリントする場合は、「画像・音声をコピーする」（p.112～p.113）の手順に従って、SDメモリーカードにコピーしてください。

- 動画や音声のみのファイルには、DPOFを設定することはできません。
- プリンターやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で日付をオンにしても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。
- 設定されたプリント枚数が 500 枚以上になる場合、カメラを直接PictBridge対応のプリンターと接続してプリントするときに、正しくプリントされないことがあります。

全画像を設定する

1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「DPOF」を選ぶ

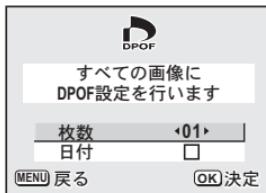
3　十字キー（▶）を押す

DPOF設定画面が表示されます。

4　DISPLAYボタンを押す

5　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定する

99枚まで設定ができます。

DPOF
すべての画像に
DPOF設定を行います
枚数 ◂01▸
日付 □
MENU 戻る　OK 決定

6　十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

7　十字キー（◀▶）で日付の☑と□を設定する

☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

8　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

- 全画像設定でプリント枚数の指定をすると、すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。
- 設定されたプリント枚数が 500 枚以上になる場合、カメラを直接PictBridge対応のプリンターと接続してプリントするときに、正しくプリントされないことがあります。

- 全画像設定を行なうと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 動画や音声のみのファイルにはDPOF設定できません。

カメラを直接プリンターにつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSBケーブル（I-USB7）で、カメラをPictBridge対応プリンターに接続すると、パソコンを介さなくても、カメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリントする枚数は、カメラとプリンターを接続した状態で、カメラ側で設定します。

- カメラをプリンターに接続するときは、ACアダプターキットK-AC5J（別売）のご使用をおすすめします。プリンターと通信中にバッテリーが消耗すると、プリンターが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- カメラからプリンターへのデータ転送中は、ストロボランプがゆっくり点滅します。
- データ転送中にUSBケーブルを抜かないでください。
- プリンターの種類によっては、カメラ側の設定（画質、DPOFの設定など）が一部しか反映されないことがあります。
- 設定されたプリント枚数が 500 枚以上になる場合、カメラを直接PictBridge対応のプリンターと接続してプリントするときに、正しくプリントされないことがあります。

USBケーブルを取り外すと、カメラの電源は自動的にオフになります。

カメラをプリンターに接続する

1　「詳細設定」メニューの「USB接続」で「PictBridge」を選ぶ

☞「USB接続モードを変更する」（p.124）

2　カメラを付属のUSBケーブルでプリンターに接続する

PictBridgeメニュー画面が表示されます。

「USB接続」で「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。
「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続してしまったら、『PC接続ガイド』のStep 3を参照してください。

1画像ずつプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「1画像印刷」を選ぶ。

2　OKボタンを押す

1画像印刷画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

99枚まで設定ができます。

5　DISPLAYボタンで、日付の☑（オン）/□（オフ）を設定する

☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

6　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。
プリントを途中で中止するには、MENUボタンを押します。

全画像をプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「全画像印刷」を選ぶ

2　OKボタンを押す

全画像印刷画面が表示されます。

全画像印刷
枚数　01　日付 □
合計 20
DISP 日付
MENU 戻る　OK 印刷

3　十字キー（▲▼）を押して各画像をプリントする枚数を選ぶ

何枚ずつプリントするかを選びます。

4　DISPLAYボタンで、日付の☑（オン）/□（オフ）を設定する

☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

5　OKボタンを押す

設定した条件で全画像がプリントされます。
プリントを途中で中止するには、MENUボタンを押します。

プリントサービスの設定（DPOF）内容でプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「DPOF指定印刷」を選ぶ

2　OKボタンを押す

DPOF指定印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像と印刷設定の確認ができます。

3　OKボタンを押す

選んだ画像に設定されているプリントサービスの設定内容でプリントされます。
プリントを途中で中止するには、MENUボタンを押します。

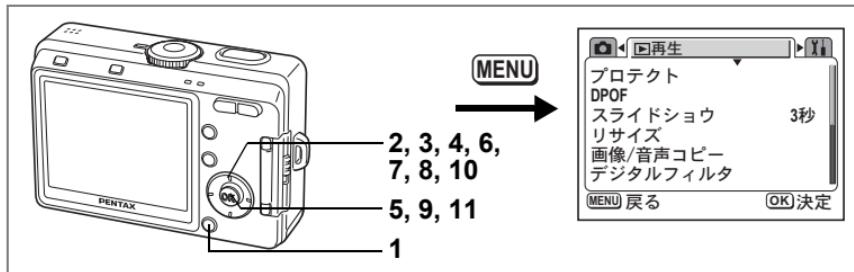
プリンターからカメラを取り外す

プリントが終了したら、カメラをプリンターから取り外します。

1　カメラの電源をオフにする

2　カメラからUSBケーブルを取り外す

3　プリンターからUSBケーブルを取り外す

画像を編集する

画像のサイズと画質を変更する

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを元のファイルサイズよりも小さくすることができます。SDメモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きすれば、空き容量が増え、撮影を続けることができます。

1 再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「リサイズ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

リサイズ画面が表示されます。

4 十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

5 OKボタンを押す

サイズと画質の選択画面が表示されます。

6 十字キー（◀▶）で記録サイズを変更する

100-0001
記録サイズと画質を
選んで下さい
記録サイズ ◀ 1600▶
画質 ★★
MENU 戻る OK 決定

7 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

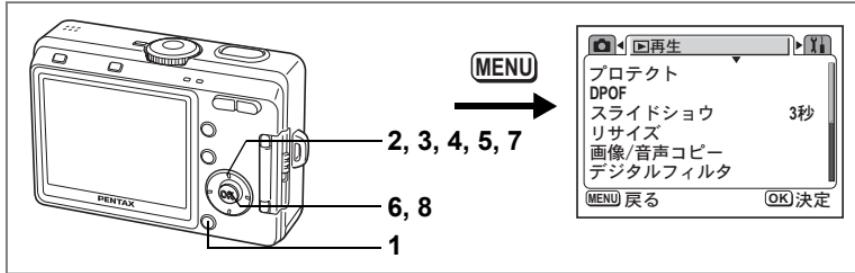
8 十字キー（◀▶）で画質を変更する

9 OKボタンを押す

10 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

11 OKボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。

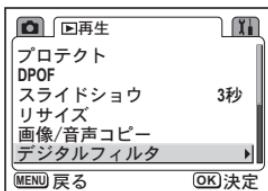
- 動画のサイズを変更することはできません。
- 元の画像の記録サイズよりも大きな記録サイズは選択できません。
- 元の画像の画質よりもきれいな画質は選択できません。

デジタルフィルタを使って編集する

デジタルフィルタには、白黒、セピア、赤、緑、青、白黒＋赤、白黒＋緑、白黒＋青の色フィルタ、ソフトフィルタ、5種類のイラストフィルタ、および2種類の特殊効果フィルタがあります。デジタルフィルタモードでは、これらのフィルタを使用して画像を編集できます。液晶モニターにはそれぞれのデジタルフィルタの効果がかかった画像が表示されます。

デジタルフィルタを使って編集した画像は、元の画像の画質に関わらず「ファイン（★★）」として保存されます。

1 再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

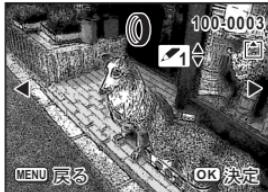
2 十字キー（▲▼）を押して「デジタルフィルタ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

デジタルフィルタが設定できる画像が表示されます。

4 十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

6 再生・消去・画像編集

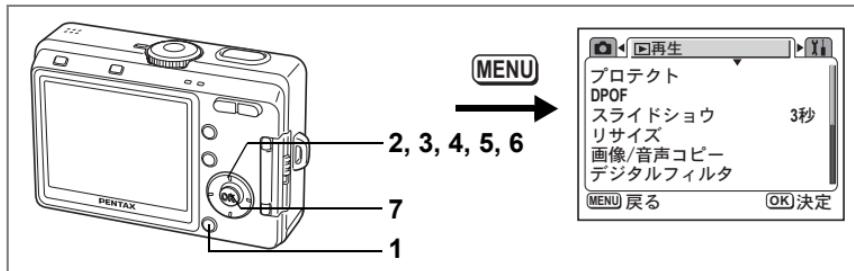
5 十字キー（▲▼）でデジタルフィルタを選ぶ

液晶モニターにフィルタがかかった画像が表示されます。ここではイラストフィルタ1がかかった例を示しています。

6 OKボタンを押す

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8 OKボタンを押す

デジタルフィルタで編集された画像が保存されます。

画像・音声をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声のファイルをコピーします。あらかじめカードを入れておかないと、この機能は選択できません。
内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合は、すべてのファイルが一括してコピーされます。SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合は、1ファイルごとに確認しながらコピーします。

注意　SDメモリーカードの挿入と取り出しは、必ず電源をオフにしてから行ってください。

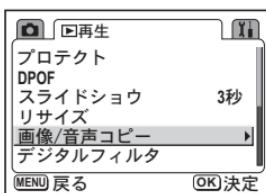
1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

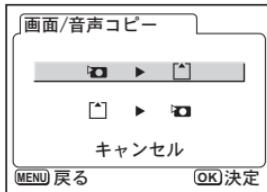
2　十字キー（▼）を押して「画像/音声コピー」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

コピー画面が表示されます。ここでコピー方法を選択します。

6 再生・消去・画像編集

内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

4 十字キー（▲▼）を押して「 ▶ 」を選びOKボタンを押す

全てのファイルがSDメモリーカードにコピーされます。

SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

4 十字キー（▲▼）を押して「 ▶ 」を選びOKボタンを押す

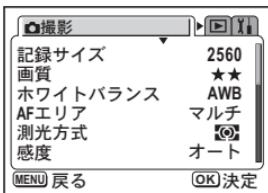
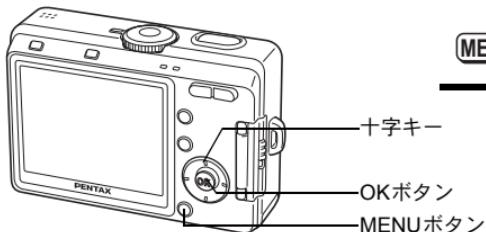
5 十字キー（◀▶）でコピーするファイルを選ぶ

6 OKボタンを押す

選んだファイルが内蔵メモリーにコピーされます。

- ボイスメモ付の画像は、画像と同時にボイスメモもコピーされます。
- SD メモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合、コピーするファイルは新しいファイル名に変更されます。

カメラの設定をする

「🔧詳細設定」メニューの呼び出しかた

SDメモリーカード/内蔵メモリーをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。カードが入っていない場合は、内蔵メモリーのデータが消去されます。

- SD メモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行なうと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

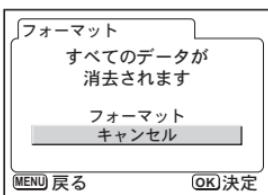
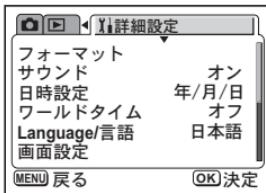
1 「🔧詳細設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

フォーマット画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「フォーマット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

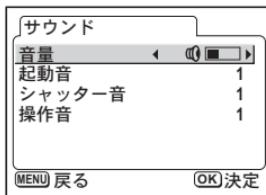
フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影できる状態になります。

サウンドの設定を変更する

音声を再生するときの音や操作音（起動音、シャッター音、ボタンの操作音など）の音量やそれぞれの音の種類を変更できます。

1 「詳細設定」メニューの「サウンド」を選ぶ

音量が0のときはオフ、その他のときはオンと表示されます。

2 十字キー（▶）を押す

操作音画面が表示されます。

音量を変更する

3 十字キー（▲▼）を押して「音量」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）を押して音量を切り替える

5 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

起動音、シャッター音、操作音の種類を変更する

3 十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選ぶ

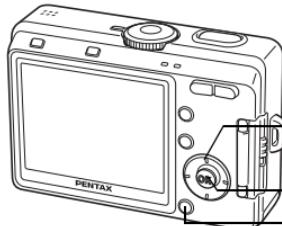
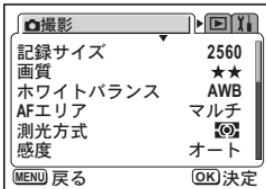
4 十字キー（◀▶）で「オフ」「1」「2」「3」のいずれかを選ぶ

「シャッター音」「操作音」も同様に切り替えます。

5 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

メモ　サウンドの設定は、電源をオフにしても保持されます。

「🔧詳細設定」メニューの呼び出しかた

日時を変更する

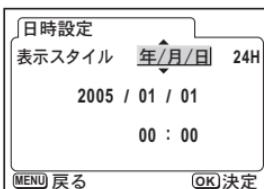
初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付や時刻の表示スタイルを設定します。

1 「🔧詳細設定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

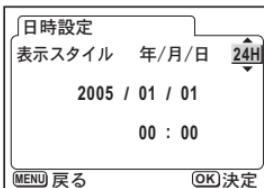
日時設定画面が表示されます。

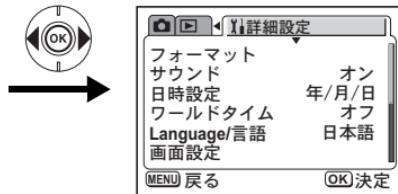
3 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを選ぶ

「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選びます。

4 十字キー（▶）を押す

選択枠が「24H」に移動します。

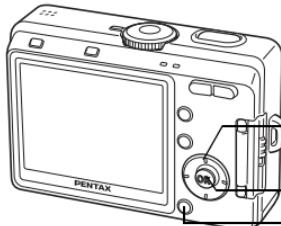
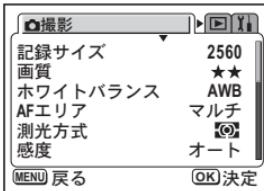
5 十字キー（▲▼）を押して、時刻の表示スタイルを選ぶ

「12H」を選ぶと12時間制で、「24H」を選ぶと24時間制で、時刻表示されます。

6 十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

7 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

西暦年を設定後、十字キー（▶）を押すごとに、選択枠が「月」「日」「時」「分」の順で移動します（◀を押すと1つ前に戻ります）。十字キー（▲▼）を押して、それぞれ設定してください。
手順5で「12H」を選択した場合は、時刻の設定に連動してAM/PMが切り替わります。

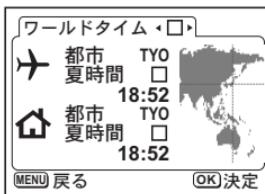
8 すべての項目を設定したら、OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

ワールドタイムを設定する

「初期設定をする」(p.25) で設定した日時は、ホームタイム（通常使用する国や地域の日時）として設定されます。
「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用する際、液晶モニターに設定した国や地域の日時を表示できます。

1 「詳細設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

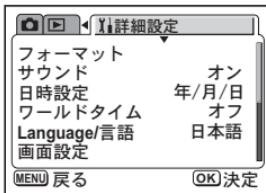
2 十字キー（▶）を押す

ワールドタイム設定画面が表示されます。

3 十字キー（◀▶）で☑と□を切り替える

☑：ワールドタイムで選択した国や地域の時刻表示になります。
□：ホームタイムで選択した国や地域の時刻表示になります。

4 十字キー（▼）を押す

ワールドタイムの対象地域には、はじめは東京が選択されています。このとき、世界地図上の東京の位置を表示し、✈には東京の記号名「TYO」と東京の時刻が表示されます。

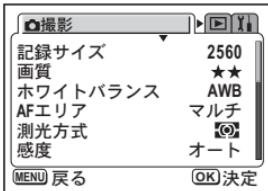
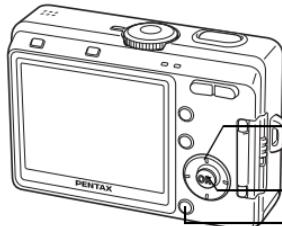
5 十字キー（◀▶）で ✈（ワールドタイム）の都市を選び、十字キー（▼）を押す

6 十字キー（◀▶）で「夏時間」の☑（オン）/□（オフ）を切り替え、十字キー（▼）を押す

⌂（ホームタイム）の設定が選択されます。
⌂（ホームタイム）の対象地域には、はじめは「TYO（東京）」が設定されています。
十字キー（◀▶）で⌂（ホームタイム）の「都市」や、「夏時間」のオン/オフを変更できます。

7 OKボタンを2回押す

設定した都市の日時で、撮影または再生できる状態になります。

指定できる都市および都市の記号名については、p.128をご覧ください。

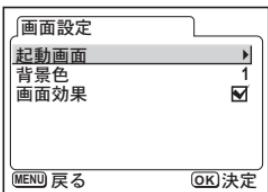
「詳細設定」メニューの呼び出しかた

起動画面/背景色/画面効果を変更する

1 「詳細設定」メニューの「画面設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

画面設定画面が表示されます。

起動画面を変更する

カメラの電源を入れたときに起動画面として表示させる画像を設定します。

3 十字キー（▲▼）で「起動画面」を選ぶ

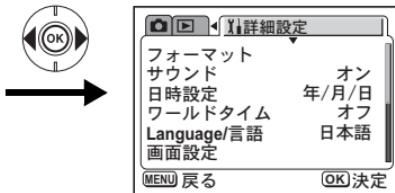
4 十字キー（▶）を押す

起動画面変更画面が表示されます。

5 十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

☑：起動画面を表示します。
□：起動画面を表示しません。

6 DISPLAYボタンを押す

7 十字キー（◀▶）を押して、起動画面として表示する画像を選ぶ

8　OKボタンを4回押す

撮影または再生できる状態になります。

設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SDメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットしても消去されません。

背景色を設定する

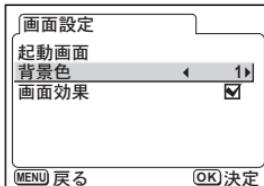
液晶モニターに表示される背景のデザインおよび色を設定します。

3　十字キー（▲▼）で「背景色」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で背景色を選ぶ

メニューの背景色が変わります。

5　OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

画面効果機能を使う

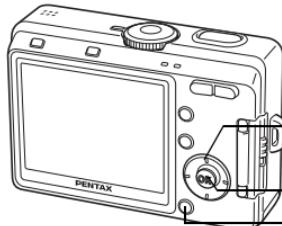
☑（オン）を選ぶと液晶モニターの表示を切り替えるときに割り込みなどのアニメーション効果で表示させることができます。

3　十字キー（▲▼）で「画面効果」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で☑（オン）/□（オフ）を切り替える

5　OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。
日本語/英語/フランス語/ドイツ語/スペイン語/イタリア語/ロシア語/韓国語/中国語（繁体字/簡体字）の9言語に対応しています。

1 「詳細設定」メニューの「Language/言語」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で言語を選ぶ

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

液晶モニターの明るさを設定する

液晶モニターの明るさを設定できます。

1 「詳細設定」メニューの「LCDの明るさ」を選ぶ

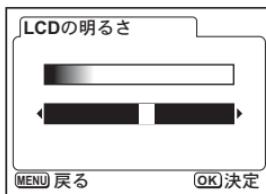
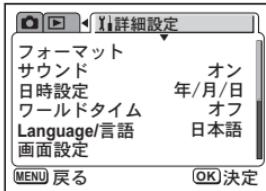
2 十字キー（▶）を押す

LCDの明るさ調整画面が表示されます。

3 液晶モニターを見ながら、十字キー（◀▶）で明るさを調整する

バーのスライダーが左に移動すると暗くなり、右に移動すると明るくなります。

4 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

ビデオ出力方式を選択する

テレビをモニターにして撮影や再生をするときの出力形式を、NTSC方式とPAL方式から選択します。

1 「詳細設定」メニューの「ビデオ出力」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「NTSC」「PAL」を切り替える

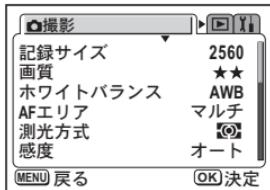
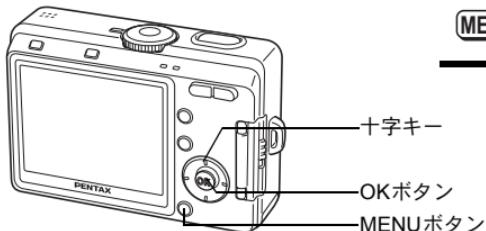
モニターするテレビの出力方式に合わせて選択します。

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

日本国内では、NTSC方式です。

「⚙詳細設定」メニューの呼び出しかた

MENU

十字キー
OKボタン
MENUボタン

USB接続モードを変更する

USBケーブルの接続先がパソコンか、PictBridge対応のプリンターかによって、USB接続モードを切り替えます。

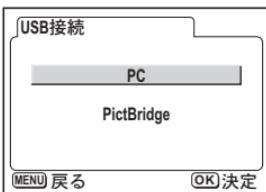
1 「⚙詳細設定」メニューの「USB接続」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

USB接続モードを選択する画面が表示されます。

USB接続
PC
PictBridge
MENU 戻る　OK 決定

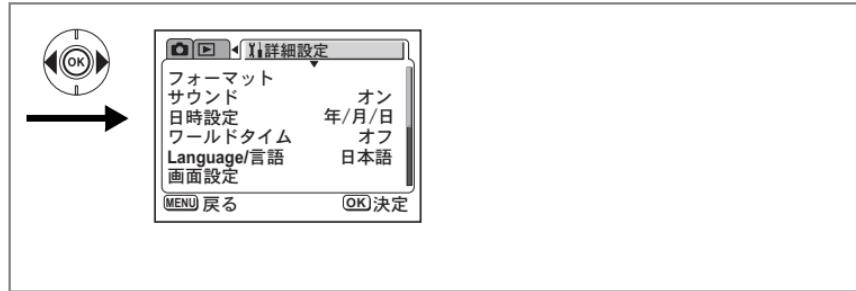
3 十字キー（▲▼）で、USB 接続モードを切り替える

パソコンの場合：PC
プリンターの場合：PictBridge

4 OKボタンを2回押す

パソコンまたはプリンターに接続できる状態になります。

「USB接続」で「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。

プリンターやパソコンとの接続については、『PC接続ガイド』を参照してください。

カメラを直接プリンターにつないでプリントする
☞p.104

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 「詳細設定」メニューの「オートパワーオフ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「2分」「3分」「5分」「オフ」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

USB接続しているときは、オートパワーオフは働きません。

設定をリセットする

日時設定、Language/言語、ワールドタイム以外の設定内容をリセットします。

1 「詳細設定」メニューの「リセット」を選ぶ

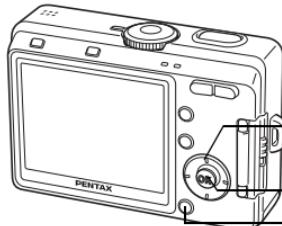
2 十字キー（▶）を押す

リセット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた

よく使う機能（ファンクション機能）を設定する

「撮影」メニューに含まれる機能のうち、よく使う機能を十字キーに登録します。登録した機能は、撮影時に/Fnボタンを押すと、表示されるファンクション機能選択画面で十字キーを使って簡単に設定できます。

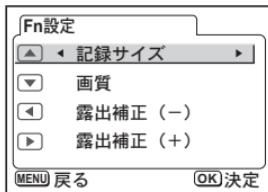
機能を登録する

1 「詳細設定」メニューの「Fn設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

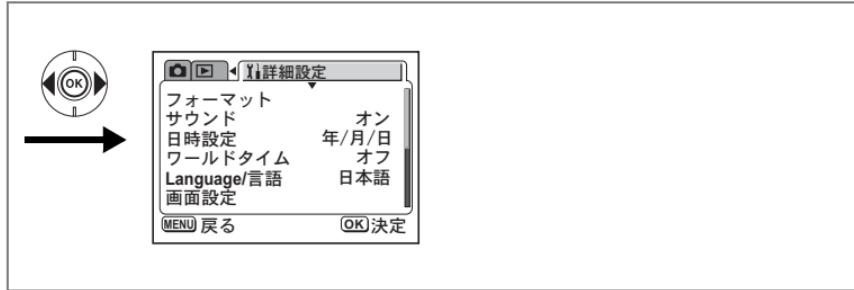
Fn設定画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）を押して機能を登録するキーを選ぶ

4 十字キー（◀▶）で登録する機能を選ぶ

初期状態では、▲に記録サイズ、▼に画質、◀に露出補正のマイナス方向、▶に露出補正のプラス方向が登録されています。
機能を何も登録しない場合にはオフを選びます。

5 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

- 各キーに登録することができる機能は1つのみです。
- 登録できるのは、記録サイズ、画質、ホワイトバランス、AFエリア、測光方式、感度、シャープネス、彩度、コントラスト、露出補正（+）/（−）の10機能と、オフ（機能無し）です。

- 露出補正は、必ず▲（+）▼（−）、または◀（−）▶（+）の組合せで登録されます。（+）（−）どちらか一方だけの登録や、（+）（−）を入れ替えた登録はできません。
- ☺（イージーモード）では、ファンクション機能は設定できません。

機能を呼び出す

1 モードダイヤルをPICT、P、、、、のいずれかに合わせる

2 撮影モードで?/Fnボタンを押す

十字キー（▲▼◀▶）に登録されているファンクション機能が表示されます。

3 ファンクション機能を登録した十字キー（▲▼◀▶）を押して機能を設定する

露出補正を登録している場合にDISPLAYボタンを押すと、補正値がヒストグラムで表示されます。（☞p.78）
ホワイトバランスを登録している場合に（マニュアル）を選ぶと、OKボタンで調整を開始します。（☞p.69）

4 ?/Fnボタンまたはシャッターボタンを押す

設定が保存され、撮影できる状態になります。

- ☺（イージーモード）、（ボイスレコーディング）、（動画）では、?/Fnボタンを押しても、ファンクション機能を呼び出せません。
- ☺（イージーモード）では、?/Fnボタンを押すと、ヘルプ画面が表示されます。（☞p.45）

7 設定

都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市、および都市の記号名です。

TYO	東京	JNB	ヨハネスブルグ
GUM	グアム	IST	イスタンブール
SYD	シドニー	CAI	カイロ
NOU	ヌーメア	JRS	エルサレム
WLG	ウェリントン	MOW	モスクワ
AKL	オークランド	JED	ジッダ
PPG	パゴパゴ	THR	テヘラン
HNL	ホノルル	DXB	ドバイ
ANC	アンカレジ	KHI	カラチ
YVR	バンクーバー	KBL	カブール
SFO	サンフランシスコ	MLE	マーレ
LAX	ロサンゼルス	DEL	デリー
YYC	カルガリー	CMB	コロンボ
DEN	デンバー	KTM	カトマンズ
MEX	メキシコシティ	DAC	ダッカ
CHI	シカゴ	RGN	ヤンゴン
MIA	マイアミ	BKK	バンコク
YTO	トロント	KUL	クアラルンプール
NYC	ニューヨーク	VTE	ビエンチャン
SCL	サンティアゴ	SIN	シンガポール
CCS	カラカス	PNH	プノンペン
YHZ	ハリファックス	SGN	ホーチミン
BUE	ブエノスアイレス	JKT	ジャカルタ
SAO	サンパウロ	HKG	香港
RIO	リオデジャネイロ	PER	パース
MAD	マドリッド	BJS	北京
LON	ロンドン	SHA	上海
PAR	パリ	MNL	マニラ
MIL	ミラノ	TPE	台北
ROM	ローマ	SEL	ソウル
BER	ベルリン	ADL	アデレード

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプターキット K-AC5J

USBケーブル I-USB7（※）

AVケーブル I-AVC7（※）

カメラケースO-CC32

ストラップ O-ST20（※）／スポーツストラップ O-ST30／レザーストラップ O-ST24／ストラップ O-ST8

リモートコントロールE

リモートコントロールF

（※）の製品は付属品と同じものです。

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

撮影時のメッセージ

圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質やサイズを変えて、もう一度撮影してください。
カードの空き容量がありません 内蔵メモリーの空き容量がありません	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上撮影できません。 新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.19、94） 画質または記録サイズを変えると撮影できる可能性があります。（p.108）
電池容量が無くなりました。 画像を保存できませんでした。	電池残量がありません。新しい電池と交換するか、充電式電池の場合は充電器で充電してください（p.14） また購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押したときにも表示される場合があります。(p.23)
フォルダが作成できません	最大のファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカード/内蔵メモリーをフォーマットしてください。（p.114）

再生時のメッセージ

画像/音声がありません	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに再生できる画像が保存されていません。
この画像/音声を再生できません	このカメラでは再生できない画像または音声を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
カードの空き容量が足りません。 画像/音声をコピーできません。	画像/音声コピーで、内蔵メモリーからSDメモリーカードへデータをコピーしようとしたが、SDメモリーカードの空き容量が足りません。 新しいSDメモリーカードをセットするか（p.19)、不要なデータを消去するか（p.94）、画質または記録サイズを変えてください（p.108)。
内蔵メモリーの空き容量が足りません。 画像/音声をコピーできません。	画像/音声コピーで、SDメモリーカードから内蔵メモリーにデータをコピーしようとしたが、内蔵メモリーの空き容量が足りません。 不要なデータを消去するか（p.94）、画質または記録サイズを変えてください（p.108)。

共通メッセージ

カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影/再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。(p.114)
カードがロックされています	SDメモリーカードがライトプロテクトされています。(p.20)
記録中です	画像をSDメモリーカードあるいは内蔵メモリーに記録しています。
	画像のプロテクト設定やDPOF設定を変更しています。
	動画を記録しています。
消去中です	画像を消去しています。
フォーマット中です	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマット中です。
電池容量がなくなりました	電池残量がありません。新しい電池と交換するか、充電式電池の場合は充電器で充電してください(p.14) またカメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押したときにも表示される場合があります。(p.14)

PictBridge機能を使用する場合に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

用紙がありません	接続したプリンターの用紙がない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンターのインクがない場合に表示されます。
プリンタエラーです	接続したプリンターでエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンターからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンターで紙詰まりが起こった場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室の⊕⊖表示にしたがって電池を入れなおしてください。(p.14)
	電池の残量がない	新しい電池をセットしてください。または、ACアダプターを使用してください。
液晶モニターに何も表示されない	液晶モニターがオフにセットされている	DISPLAYボタンを押すと、液晶モニターがオンになります。(p.42)
	USBケーブルでパソコンに接続している	パソコンに接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。
	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニターが表示されていても、確認しづらいことがあります。
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボランプが赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了すると赤色に点灯します。
	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.19、94)
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。モードにセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。(p.41)

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。一旦撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。あるいはマニュアルフォーカスを使用してください。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニター中央の〔　〕(AFエリア)に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、一旦撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを またはs（スーパーマクロ）にセットしてください。(p.62)
	フォーカスモードが またはs（スーパーマクロ）になっている	フォーカスモードが またはs（スーパーマクロ）にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	自動発光または に設定してください。(p.64)
	撮影モードが か PICT モードの にセットされているか、連続撮影または遠景モードに設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。
ズームが動かない	スーパーマクロモードにセットされている	スーパーマクロモードではズームは作動しません。
新しい電池を入れたのに「バッテリー容量がなくなりました」と表示される	前回電池を取り外してから、長期間経過している	カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、このとき、日時や記録サイズなどの設定が初期化されていることがありますので、「撮影のための機能を設定する」(p.62～p.78)、「カメラの設定をする」(p.114～p.127)の説明にしたがって、それぞれ設定をしなおしてください。

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	500万画素	
撮像素子	総画素数536万画素、原色フィルタ/インターライントランスファー 1/2.5型CCD	
記録画素数	静止画	2560×1920ピクセル、2304×1728ピクセル、2048×1536ピクセル、1600×1200ピクセル、1024×768ピクセル、640×480ピクセル
	動画	320×240ピクセル
感度	オート、マニュアル（50/100/200/400: 標準出力感度）	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応、Print Image Matching III対応
	動画	AVI（Motion JPEG準拠）、約30fps/15fps、音声付（モノラル）、※fps=フレーム/秒
	音声	WAV（PCM方式）、モノラル 最大録音可能時間　約15分（16MBのSDメモリーカード使用時）
画質	★★★（S.ファイン）、★★（ファイン）、★（エコノミー） （イージーモード時） 2560×1920:★★★（最高画質）、2560×1920:★★（高画質）、 2048×1536:★★（標準画質）、640×480:★★（メール画質）	
記録媒体	内蔵メモリー（約11MB）、SDメモリーカード	

撮影枚数　　内蔵メモリー（11MB）を使用した場合

記録サイズ ＼ 画質	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	動画 (320×240)	音声
2560 ×1920	3枚	6枚	10枚	49秒（15fps） 25秒（30fps）	11分
2304 ×1728	4枚	8枚	12枚		
2048 ×1536	5枚	9枚	14枚		
1600 ×1200	8枚	15枚	21枚		
1024 ×768	19枚	36枚	48枚		
640 ×480	44枚	69枚	92枚		

SDメモリーカード（128MB）を使用した場合

記録サイズ ＼ 画質	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	動画 (320×240)	音声
2560 ×1920	38枚	77枚	124枚	9分12秒（15fps） 4分45秒（30fps）	2時間13分
2304 ×1728	49枚	96枚	138枚		
2048 ×1536	62枚	113枚	166枚		
1600 ×1200	104枚	178枚	250枚		
1024 ×768	227枚	417枚	544枚		
640 ×480	500枚	782枚	1043枚		

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル	
レンズ	焦点距離	5.8mm～17.4mm （35mmフィルム換算：35.6～107mm相当）
	最大F値	F2.6～F4.8
	レンズ構成	5群6枚（両面非球面レンズ2枚使用）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	約38.6mm×約28.9mmを画面いっぱいに撮影可能（スーパーマクロモード）
	レンズバリア	電動式
デジタルズーム	撮影時	最大約2.6倍（光学3倍ズームと合わせ、最大約8倍相当のズーム倍率）
液晶モニター	2.5型TFTカラーLCD（バックライト付）、約11.5万画素、視野率約100％	
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大再生（最大12倍まで、スクロール可）、画像回転（静止画のみ）、動画再生、音声再生、ボイスメモ再生、ヒストグラム表示 メニュー内にスライドショー再生、リサイズ、プロテクト、デジタルフィルタ、コピー（内蔵⇔メディア）、DPOF機能有	
	デジタルフィルタ（白黒、セピア、赤、緑、青、白黒+赤、白黒+緑、白黒+青、ソフト、イラスト1、イラスト2、イラスト3、イラスト4、イラスト5、特殊効果1、特殊効果2）	
オートフォーカス	方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式 5点マルチAF（スポットAF切替可）
	撮影範囲 静止画/動画 （レンズ前面から）	ノーマル：0.4m～∞（ズーム全域） マクロ：0.18m～0.5m（ズーム全域） スーパーマクロ：0.06m～0.2m（焦点距離10.2mm時） 遠景：∞（ズーム全域）
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
マニュアルフォーカス	0.18m～∞（焦点距離中間付近では0.06m～∞）	
露出機構	測光方式	撮像素子によるTTL測光（分割、中央部重点、スポット）
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
動画	撮影時間約1秒～メモリーカード容量いっぱいまで	
撮影モード	イージー、ポートレート、風景、夜景、動画、ボイスレコーディング、デジタルエフェクト、プログラム、ピクチャーの9ポジション	
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/2000秒～約4秒
ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	自動発光、発光禁止、強制発光、自動発光+赤目軽減、強制発光+赤目軽減
	撮影範囲	ワイド　約0.2m～約4.9m （標準出力感度400の条件において） テレ　約0.2m～約2.8m （標準出力感度400の条件において）
ドライブモード	1コマ撮影、セルフタイマー撮影（10秒/2秒）、連続撮影、リモコン撮影（3秒後撮影/即撮影）	
セルフタイマー	電子制御式、制御時間：約10秒、約2秒	
時計機能	ワールドタイム設定、世界62都市に対応（28タイムゾーン）	
リモコン	リモートコントロールE、F（別売） 受信後即撮影、約3秒後に撮影の切替え可 リモートコントロールEでは、リモコンによるズーム操作可	

電源	単3形電池2本（アルカリ、リチウム、ニッケルマンガン、ニッケル水素充電池）、リチウム電池CR-V3、ACアダプターキット（別売）	
バッテリー寿命	静止画撮影 再生時間	約370枚以下（リチウム電池CR-V3使用時）※1 約450分以下（リチウム電池CR-V3使用時）※2
	※1 撮影枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。（測定条件：液晶モニター ON、ストロボ使用率 50%、23°C） ※2 再生時間は当社の測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。	
入出力ポート	USB/AV端子、外部電源端子	
ビデオ出力方式	NTSC/PAL（モノラル音声）	
PictBridge	対応プリンター	“PictBridge”対応のプリンター
	印刷モード	1画像印刷、全画像印刷、DPOF印刷
大きさ	89（幅）×58.5（高）×27.5（厚）mm（操作部、突起部を除く）	
質量	135ｇ（電池、SDメモリーカード含まず）	
撮影時質量	185ｇ（電池、SDメモリーカード含む）	
主な付属品	単3形アルカリ電池（2本）、USBケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、AVケーブル、ストラップ、使用説明書	

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。[保証期間中のみ有効]

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。

電話受付
0120-737-919（フリーダイヤル）
03-3975-4314（携帯・PHS用）
受付時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く）

インターネット受付
URL：https://www.pentax.co.jp/japan/support/

FAX受付
FAX:03-3975-4318
インターネット受付のURLアドレスからFAX申込書をダウンロードしてお使いください。

[宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ]
ペンタックスサービス（株）東日本修理センター 03-3975-4341（代）
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2
ペンタックス（株）流通センター内
営業時間： 午前9:00 ～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター 06-6271-7996（代）
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間： 午前9:00 ～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス　**http://www.pentax.co.jp/**

[弊社製品に関するお問い合わせ]
お客様相談センター　**ナビダイヤル　0570-001313**
（市内通話料でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS の方は、右記の電話番号をご利用ください。☎**03-3960-3200（代）**

〒 174-8639　東京都板橋区前野町 2-36-9

営業時間　午前 9：00 ～午後 6：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[ショールーム・写真展・修理受付]
ペンタックスフォーラム　☎**03-3348-2941（代）**

〒 163-0401　東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）

営業時間　午前 10：30 ～午後 6：30
（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

ペンタックス株式会社

〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57505
01-200505
Printed in the Philippines